

市民アンケート調査結果 （抜粋）

調査概要

1. 調査の目的

流山市では、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちづくりのため、市民・関係機関、団体と行政が連携し、地域住民がお互いに助け合える新しい福祉行政を目指し、「流山市地域福祉計画」を策定します。計画策定に向け、「流山市地域福祉に関する市民アンケート」を実施しました。

2. 調査の方法及び対象者

調査地域：流山市全域

調査形式：アンケート調査

調査方法：郵送配布・郵送回収

調査期間：令和3年1月22日～令和3年2月9日

調査対象者：市内在住の18歳以上の方3,000人を無作為抽出。

3. 調査回収状況

調査区分	配布数	回収数	回収率
地域福祉に関する市民アンケート調査	3,000件	1,450件	48.3%

(性別の内訳)

性別	回収数(件)	内訳
男性	639	44.1%
女性	799	55.1%
答えたくない	5	0.3%
無回答	7	0.5%
合計	1,450	100.0%

4. 調査分析・表示について

調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、比率が0.05未満の場合には0.0と表記しています。また、合計値が100.0%にならない場合があります。

複数回答の設問の場合、原則として、その項目に対しての有効回答者の数を基数とし、比率算出を行っているため、回答比率の合計は100.0%を超える場合があります。

図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表しています。

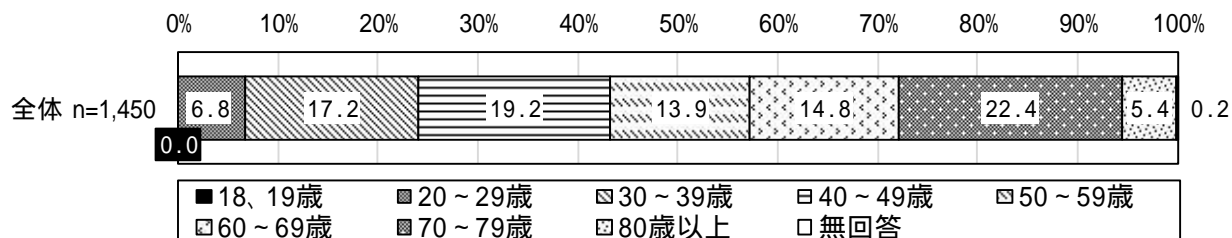
クロス集計は、集計の都合上、無回答者を除いた集計となっている部分があり、単純集計の結果と合致するとは限りません。

本調査結果では、なるべく調査票そのままの表現を用いていますが、スペース等の関係から一部省略した表現としている箇所があります。

第2部 調査結果報告

年齢

あなたの年齢を教えてください。(あてはまるもの1つに)

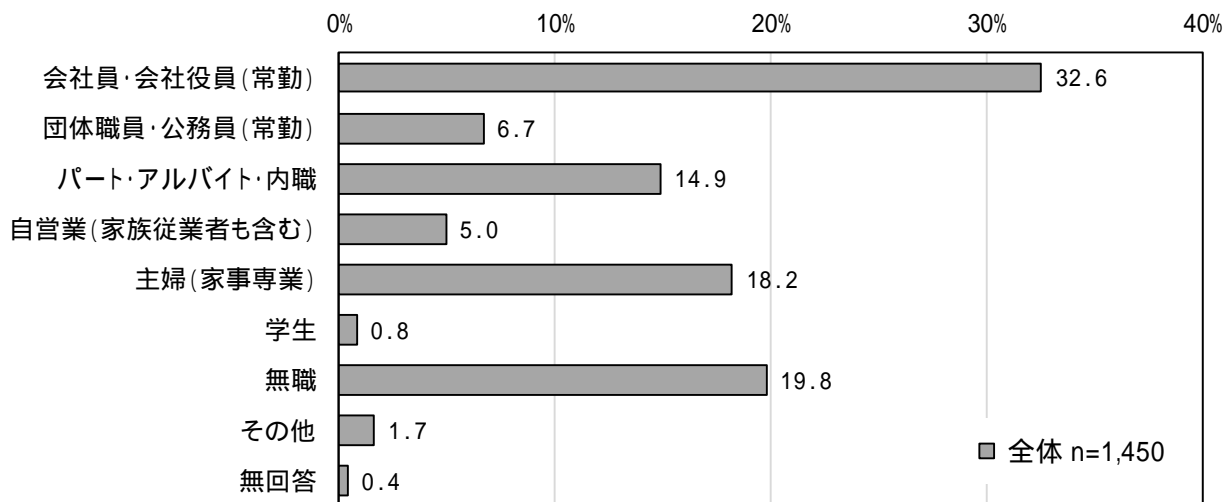


今回調査の「18、19歳」の回収率は0.0%のため、以降のグラフから「18、19歳」の表示を除きます。

回答者の年齢は、「70～79歳」が22.4%と最も高く、次いで「40～49歳」が19.2%、「30～39歳」が17.2%となっています。

職業

あなたの職業を教えてください。(あてはまるもの1つに)

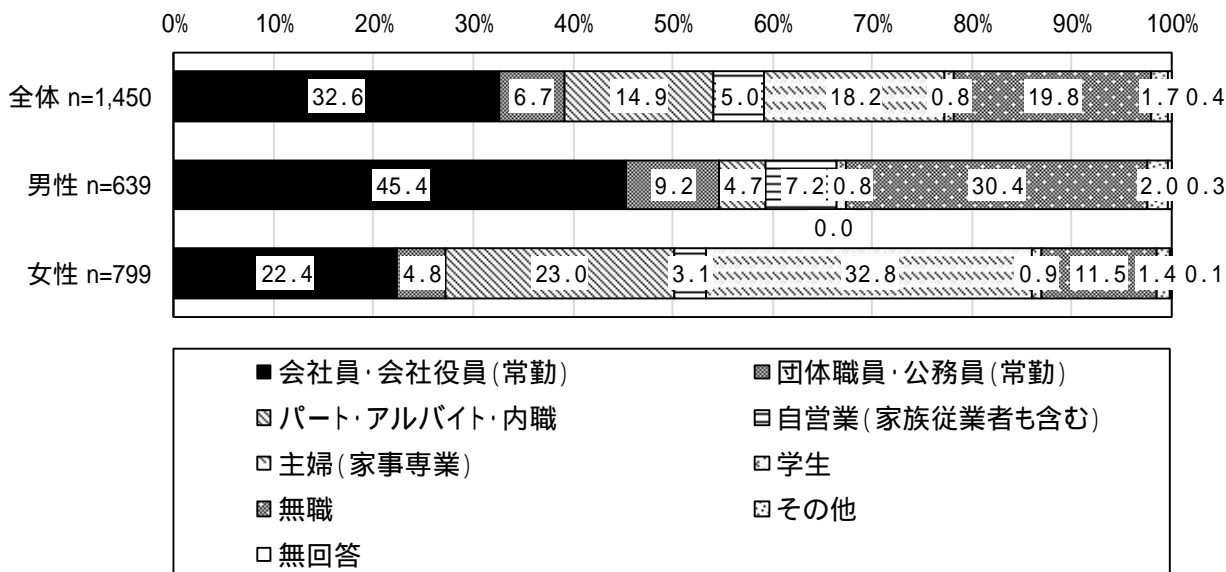


職業は、「会社員・会社役員(常勤)」が32.6%と最も高く、次いで「無職」が19.8%、「主婦(家事専業)」が18.2%となっています。

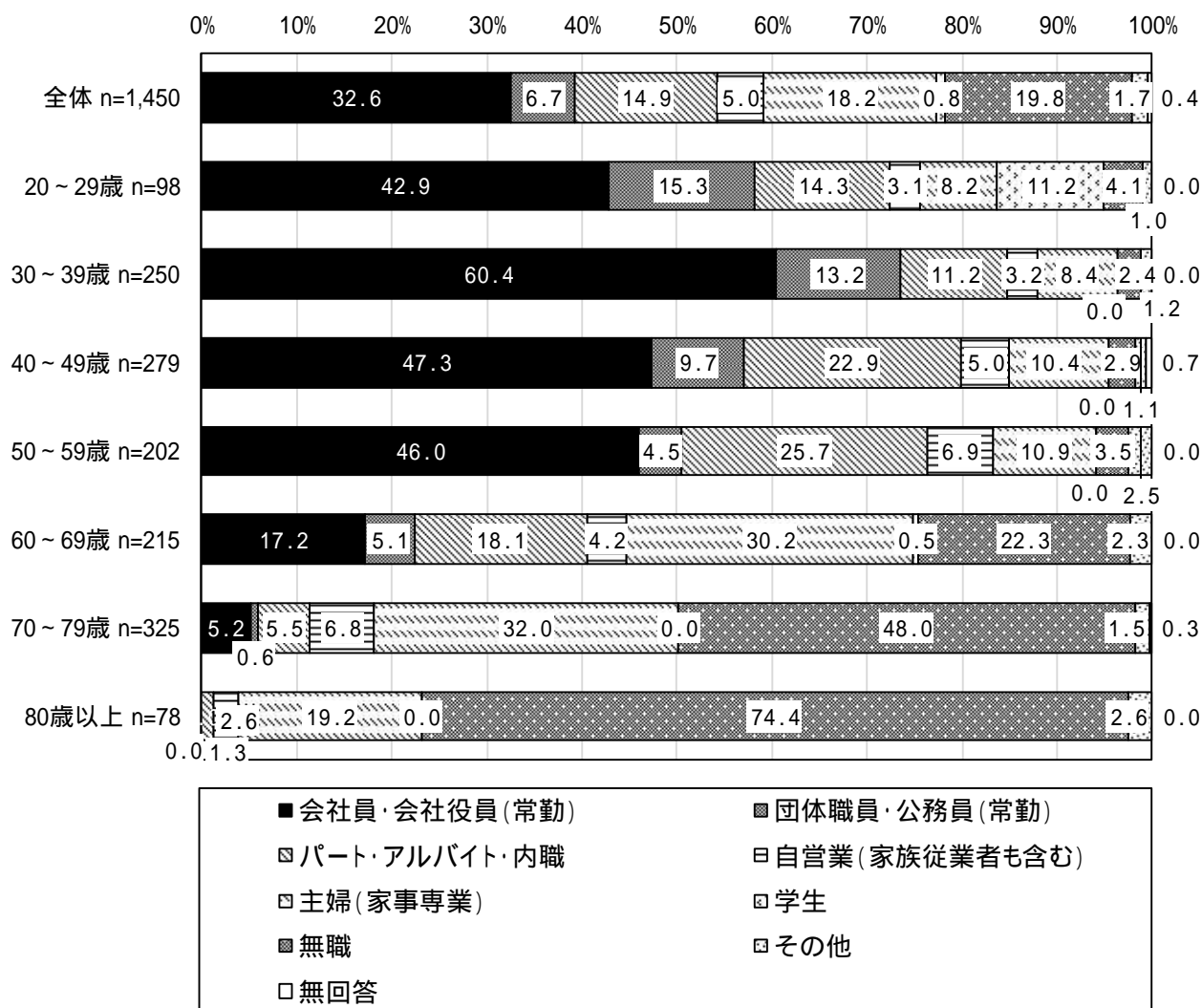
また、男女別では、男性では「会社員・会社役員(常勤)」と「無職」の割合が高く、女性では「パート・アルバイト・内職」と「主婦(家事専業)」の割合が高くなっています。

さらに、年代別でみると、59～59歳まで「会社員・会社役員(常勤)」や「パート・アルバイト・内職」の割合が高く、60歳以上では「主婦(家事専業)」、「無職」の割合が高くなっています。

男女別職業



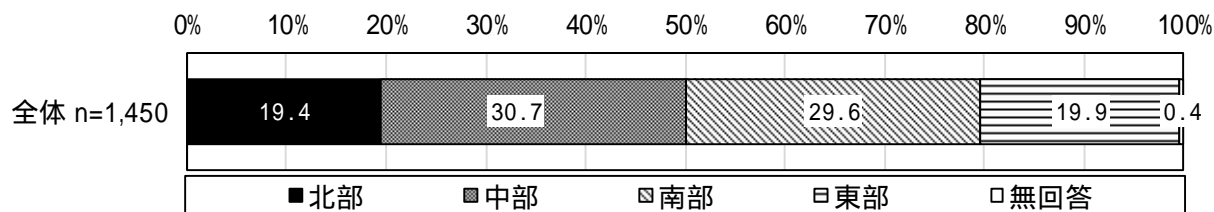
年代別職業



居住地区

あなたがお住まいの地域はどこですか。(あてはまるもの1つに)

大分類での居住地区別集計

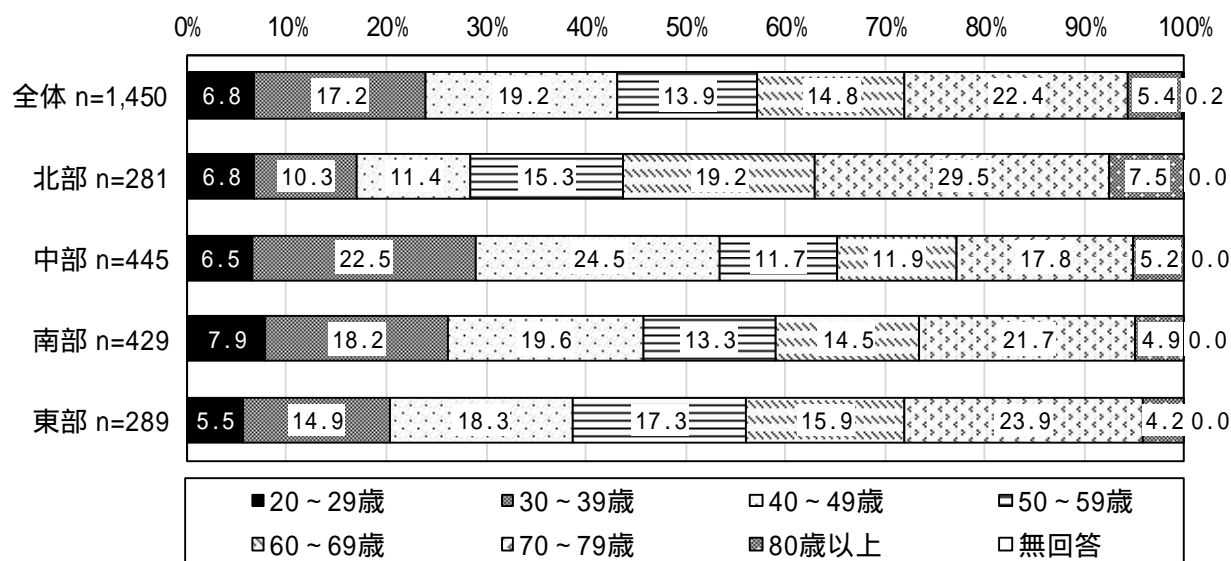


居住地区は、「南流山1～8丁目」が8.7%と最も高く、次いで「東深井」が7.4%、「おおたかの森東一～四丁目」が5.4%となっています。

また、居住地区別では、「中部」が30.7%と最も高く、次いで「南部」が29.6%、「東部」が19.9%、「北部」が19.4%となっています。

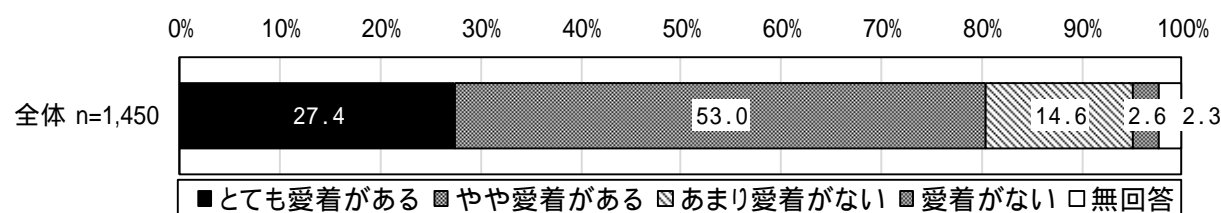
さらに、居住地区別をみると、中部、南部、東部で40～49歳までの割合が他地区より高く、北部では60歳以上の割合が高いことがわかります。

居住地区別年代



地域や街への愛着

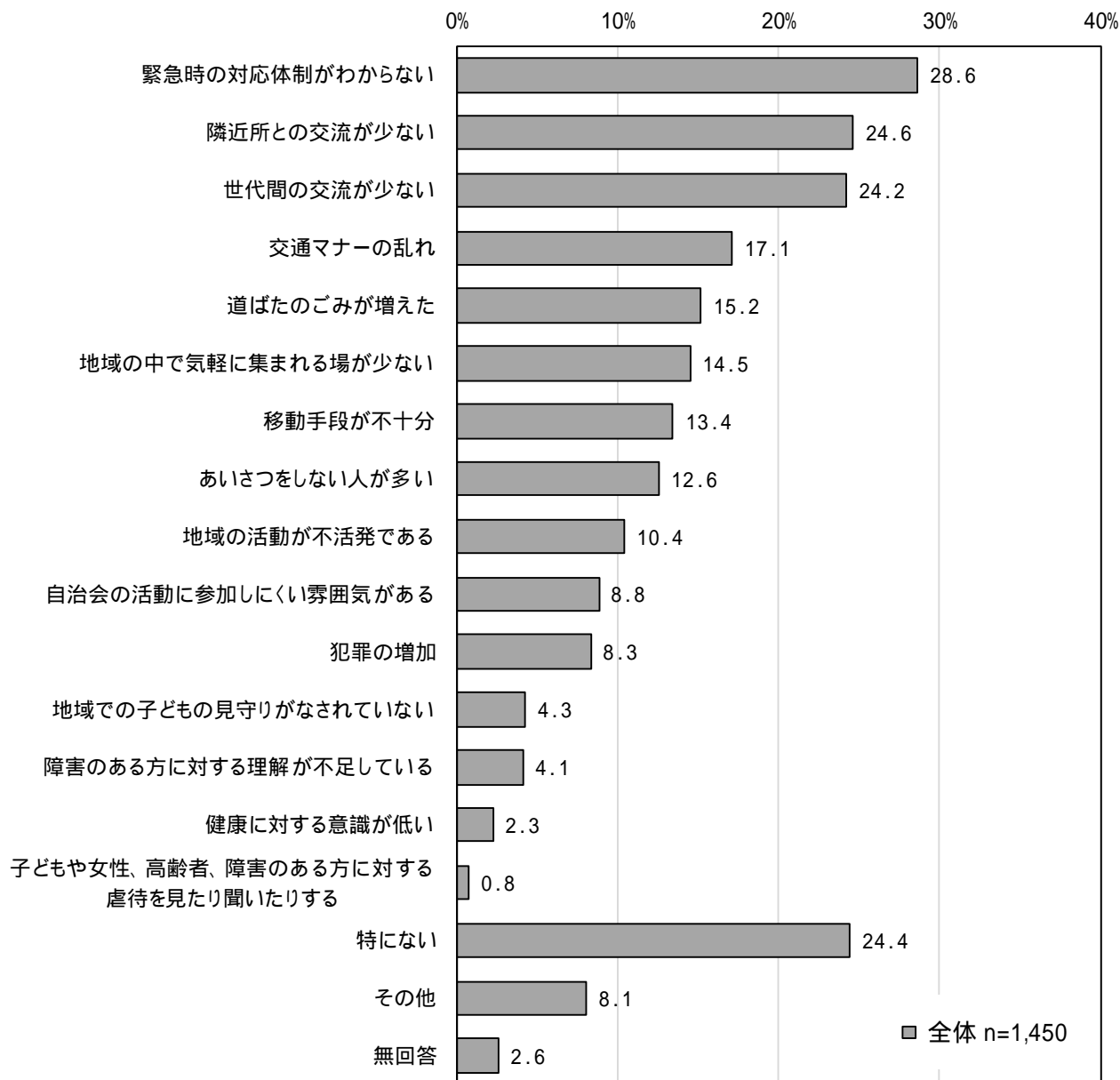
あなたは、現在、地域・街に対してどれくらい愛着がありますか。(あてはまるもの1つに)



地域や街に愛着があるかは、「とても愛着がある」(27.4%)、「やや愛着がある」(53.0%)を合わせて80.4%が『愛着がある』と回答しています。

地域の問題点

現在、あなたの住んでいる地域の中での問題点と思うものは何ですか。
 (あてはまるものすべてに)

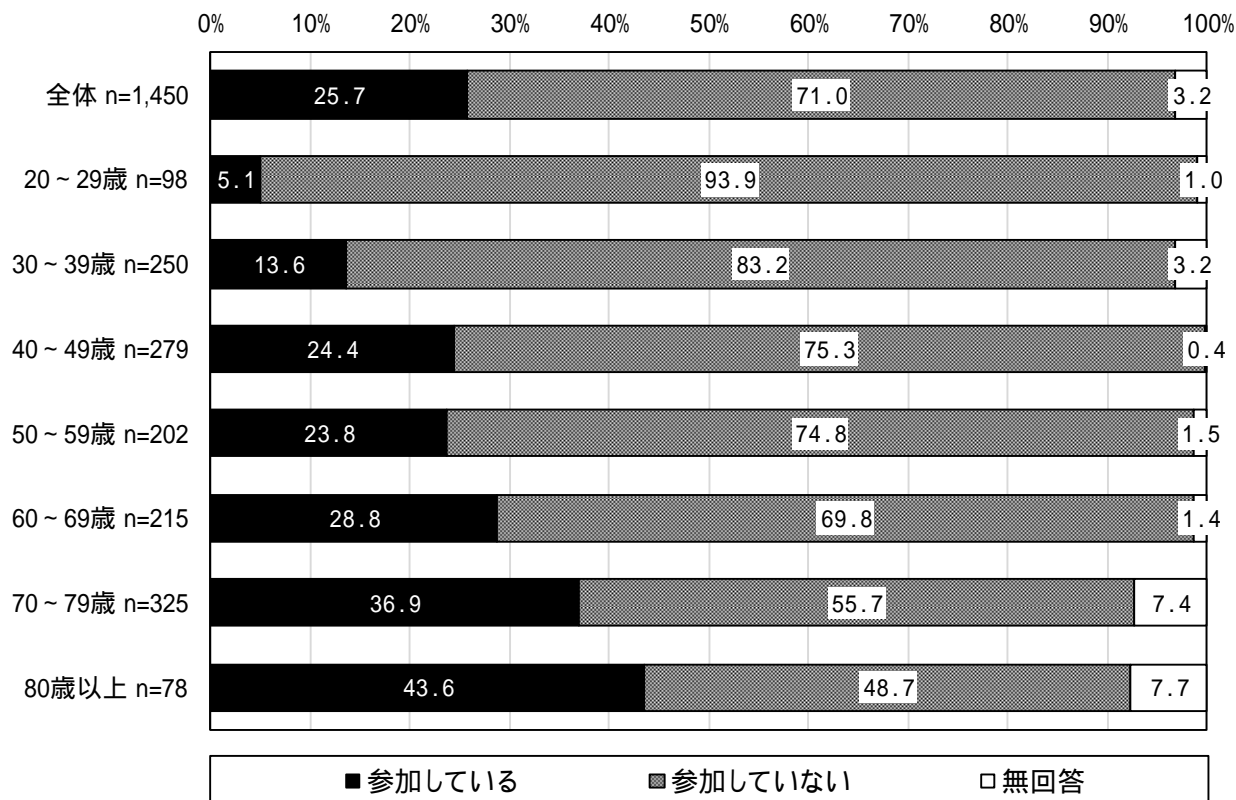


地域の問題点は、「緊急時の対応体制がわからない」が28.6%と最も高く、次いで「隣近所との交流が少ない」が24.6%、「世代間の交流が少ない」が24.2%となっています。

地域活動等の参加状況

あなたは、現在、地域や社会での活動（自治会、子ども会、老人クラブ、市民活動団体、ボランティアなど、主にあなたの居住地域内を活動対象とした活動）に参加していますか。
 （あてはまるもの1つに ）

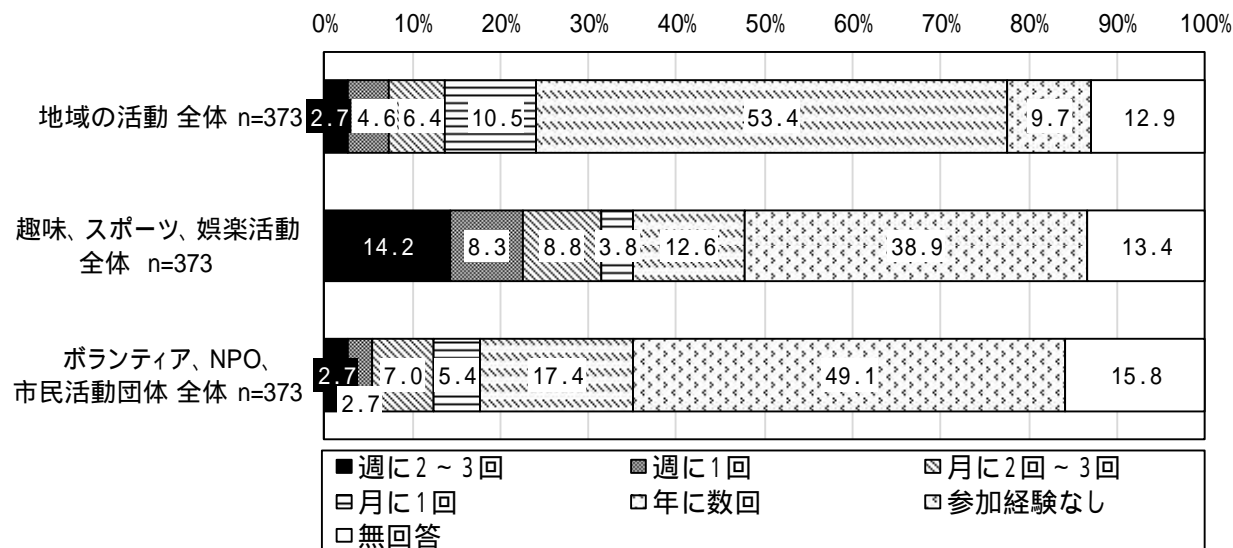
年代別地域活動等の参加状況



地域活動等の参加状況は、「参加している」が25.7%となっています。
 また、「参加していない」が71.0%となっています。
 さらに、年代別をみると、年代が上がるにつれて地域活動に「参加している」割合が高くなっています。

地域活動等の参加頻度

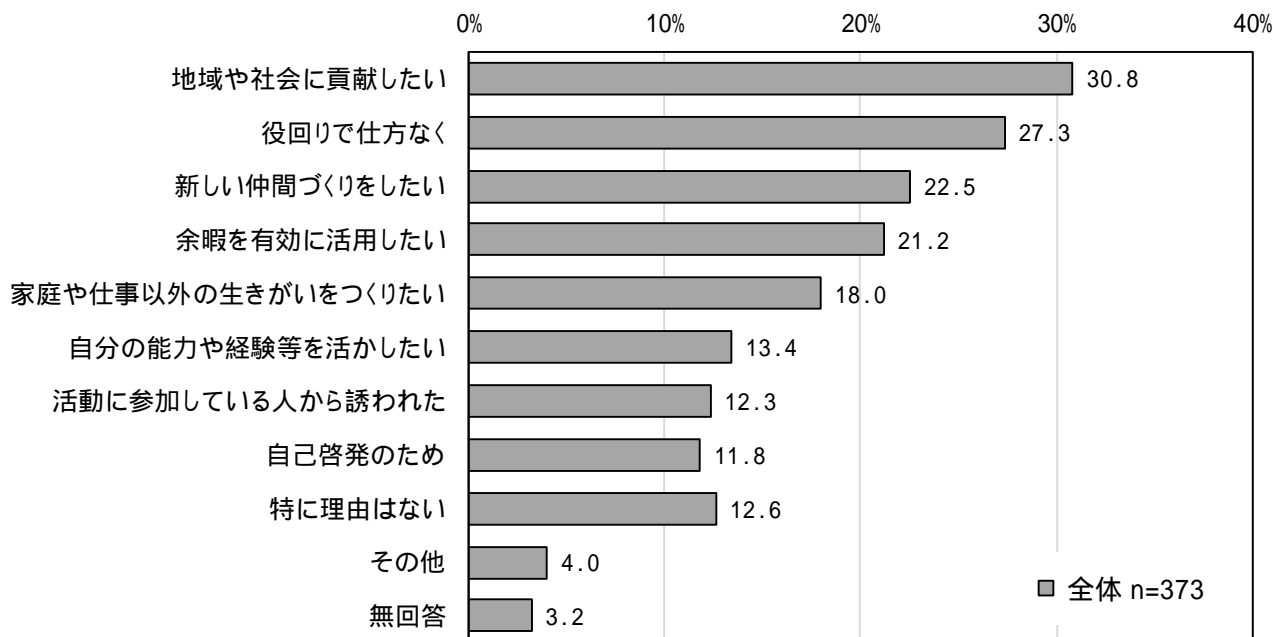
あなたは、住んでいる地域や社会の中で、次の活動にどれくらいの頻度で参加していますか。
 (から の項目について、あてはまるもの1つに)



地域活動に「参加している」と回答した 373 人に、参加頻度をたずねたところ、「地域の活動(自治会、町内会、婦人会、老人会など)」では「年に数回」、「趣味、スポーツ、娯楽活動」、「ボランティア、NPO、市民活動(まちづくり・福祉活動など)」では、「参加経験なし」との回答が最も高く約半数を占めています。

地域活動等に参加している理由

あなたが活動に参加している理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)



地域活動に参加している理由は、「地域や社会に貢献したい」が 30.8%と最も高く、次いで「役回りで仕方なく」が 27.3%、「新しい仲間づくりをしたい」が 22.5%となっています。

また、年代別では、20~29 歳では、「地域や社会に貢献したい」、「新しい仲間づくりをしたい」、

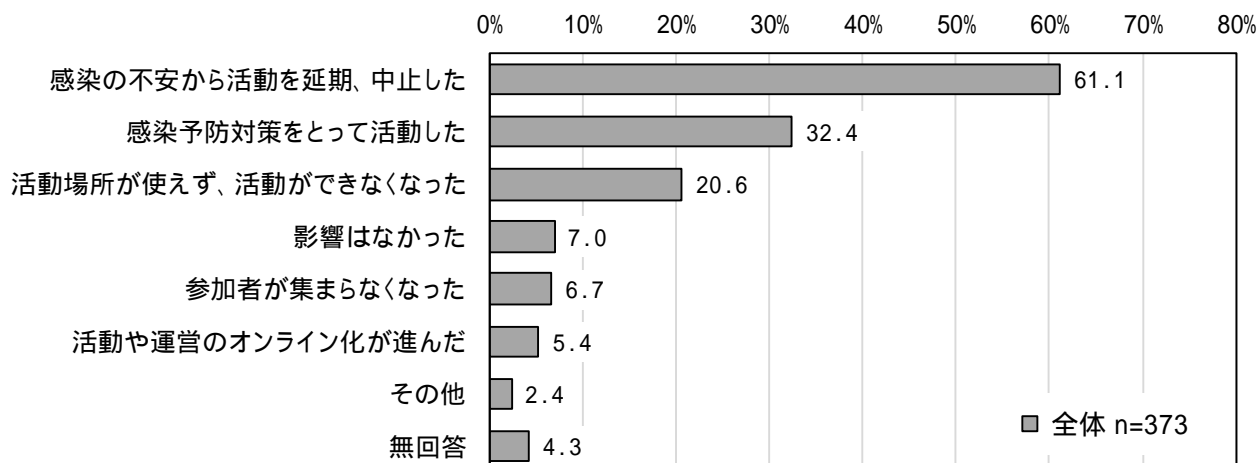
40～59歳未満では、「役回りで仕方なく」、60～69歳では「家庭や仕事以外の生きがいをつくりたい」、「新しい仲間づくりをしたい」、「役回りで仕方なく」、80歳以上では「新しい仲間づくりをしたい」、「余暇を有効に活用したい」の割合が比較的他の年代より高くなっています。

年代別地域活動等に参加している理由

		地域や社会に貢献したい	自分の能力や経験等を活かしたい	新しい仲間づくりをしたい	余暇を有効に活用したい	家庭や仕事以外の生きがいをつくりたい	自己啓発のため	役回りで仕方なく	活動に参加している人から誘われた	特に理由はない	その他	無回答
全体 n=373		30.8	13.4	22.5	21.2	18.0	11.8	27.3	12.3	12.6	4.0	3.2
年代別	20～29歳 n=5	40.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	30～39歳 n=34	29.4	14.7	11.8	5.9	14.7	2.9	26.5	11.8	23.5	2.9	0.0
	40～49歳 n=68	25.0	5.9	10.3	7.4	7.4	5.9	39.7	10.3	17.6	5.9	2.9
	50～59歳 n=48	37.5	18.8	22.9	12.5	14.6	10.4	37.5	12.5	14.6	6.3	0.0
	60～69歳 n=62	22.6	14.5	25.8	19.4	25.8	16.1	25.8	16.1	11.3	3.2	3.2
	70～79歳 n=120	35.0	15.0	24.2	30.8	21.7	14.2	20.0	12.5	8.3	1.7	5.8
	80歳以上 n=34	35.3	14.7	41.2	44.1	23.5	20.6	20.6	11.8	5.9	8.8	2.9

新型コロナウイルスによる影響

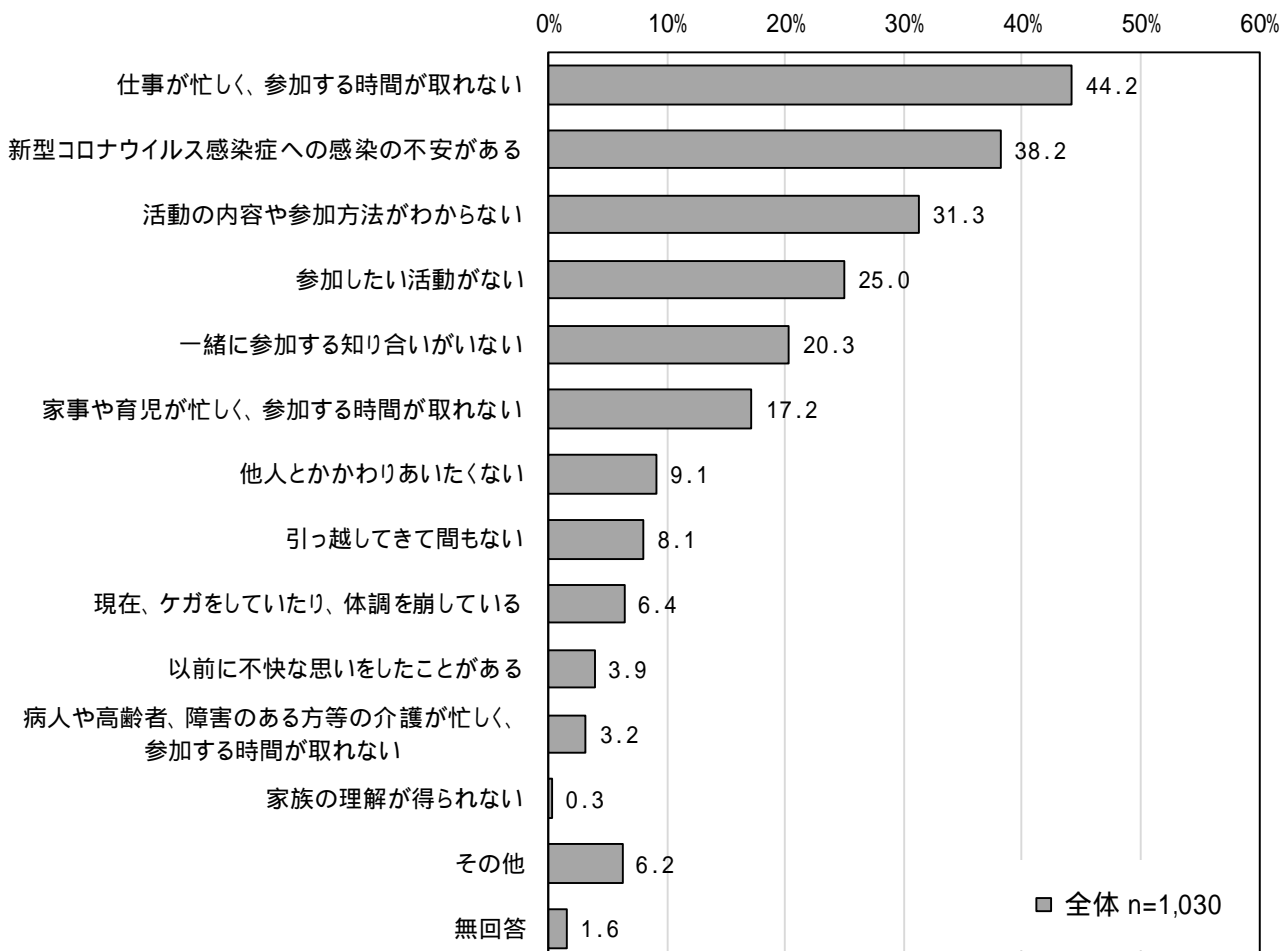
新型コロナウイルス感染症によって活動に影響はありましたか。(あてはまるものすべてに)



新型コロナウイルスによる影響は、「感染の不安から活動を延期、中止した」が61.1%と最も高く、次いで「感染予防対策をとって活動した」が32.4%、「活動場所が使えず、活動ができなくなった」が20.6%となっています。

地域活動等に参加していない理由

あなたが活動に参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)



地域活動に参加していない理由は、「仕事が忙しく、参加する時間が取れない」が44.2%と最も高く、次いで「新型コロナウイルス感染症への感染の不安がある」が38.2%、「活動の内容や参加方法がわからない」が31.3%となっています。

また、年代別では、20～29歳では、「参加したい活動がない」、「新型コロナウイルス感染症への感染の不安がある」、30～39歳では、「仕事が忙しく、参加する時間が取れない」、「家事や育児が忙しく、参加する時間が取れない」、60～80歳以上では「現在、ケガをしていたり、体調を崩している」の割合が比較的他の年代より高くなっています。

さらに地域別をみると、すべての地域で「仕事が忙しく、参加する時間が取れない」が上位に挙がっています。

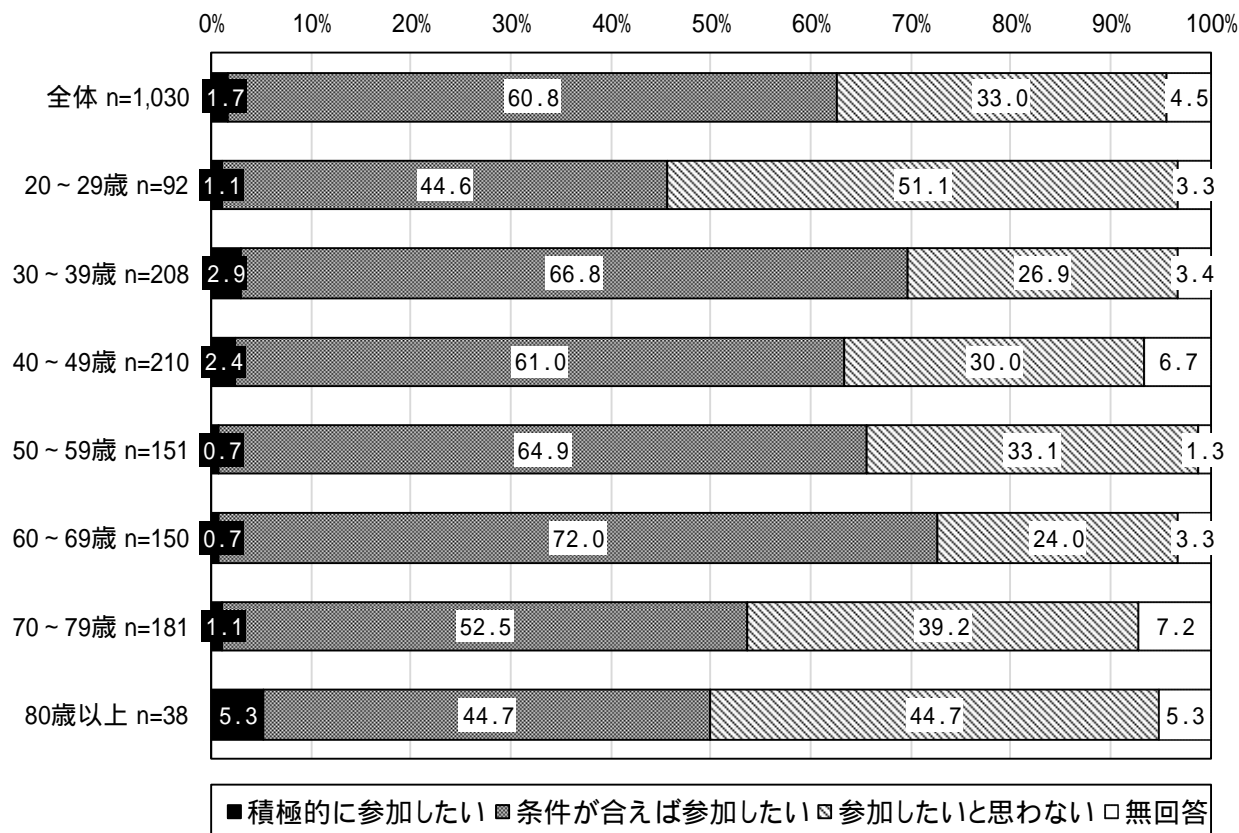
年代別・居住地区別地域活動等に参加していない理由

		参加したい活動がない	活動の内容や参加方法がわからない	引越してきて問もない	仕事が忙しく、参加する時間が取れない	家事や育児が忙しく、参加する時間が取れない	病人や高齢者、障害のある方等の介護が忙しく、参加する時間が取れない	家族の理解が得られない	現在、ケガをしていたり、体調を崩している	他人とかかわりあいたくない	以前に不快な思いをしたことがある	一緒に参加する知り合いがない	新型コロナウイルス感染症への感染の不安がある	その他	無回答
全体 n=1,030		25.0	31.3	8.1	44.2	17.2	3.2	0.3	6.4	9.1	3.9	20.3	38.2	6.2	1.6
年代別	20～29歳 n=92	32.6	42.4	17.4	51.1	12.0	0.0	0.0	4.3	17.4	1.1	25.0	48.9	2.2	1.1
	30～39歳 n=208	20.2	43.3	19.2	63.5	38.5	1.0	0.0	3.8	7.7	1.0	19.2	34.6	2.9	0.0
	40～49歳 n=210	22.9	34.3	6.7	57.6	30.5	3.3	0.5	1.4	7.6	2.9	21.0	32.9	4.8	1.0
	50～59歳 n=151	23.2	28.5	4.6	58.9	9.3	4.0	0.0	4.0	11.9	7.3	21.9	37.7	3.3	0.7
	60～69歳 n=150	27.3	24.7	3.3	26.7	4.7	6.7	0.0	9.3	8.0	3.3	22.0	41.3	8.0	1.3
	70～79歳 n=181	29.8	19.9	0.6	12.2	0.6	4.4	1.1	13.8	7.2	7.7	17.1	42.0	11.0	2.8
	80歳以上 n=38	18.4	13.2	0.0	10.5	0.0	0.0	0.0	15.8	7.9	2.6	13.2	31.6	23.7	13.2
地区別	北部 n=199	27.1	23.1	3.5	37.2	13.6	4.5	0.0	5.5	12.6	5.5	23.1	37.2	6.0	1.0
	中部 n=323	18.0	33.7	13.9	46.1	20.1	2.5	0.3	7.4	9.6	2.5	18.9	40.6	7.4	1.5
	南部 n=316	25.3	35.4	6.0	48.4	17.7	2.8	0.6	5.1	6.0	4.7	19.9	36.4	4.4	2.2
	東部 n=191	34.0	28.8	6.3	41.4	15.2	3.7	0.0	7.9	9.9	3.1	20.4	38.2	6.8	1.0

今後の地域活動等への参加意向

あなたは、今後、地域活動に参加したいと思いますか。(あてはまるもの1つに)

年代別今後の地域活動等への参加意向

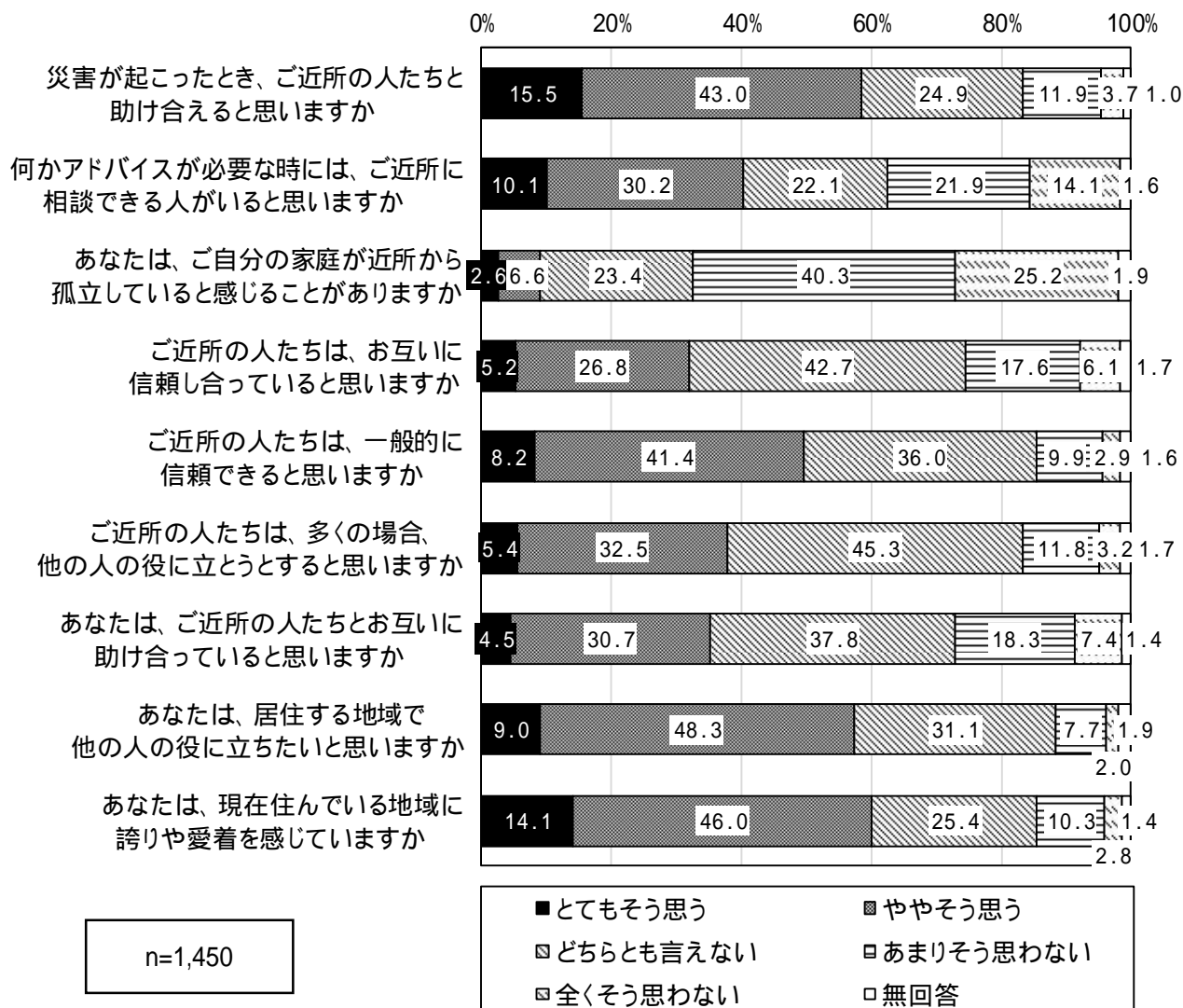


地域活動に「参加していない」と回答した1,030人に、今後の参加意向をたずねたところ、「条件が合えば参加したい」が60.8%と最も高くなっています。

年代別では、60～69歳が地域活動に「条件が合えば参加したい」との回答割合が高くなっており、7割を超えています。

住民同士の支え合いについて

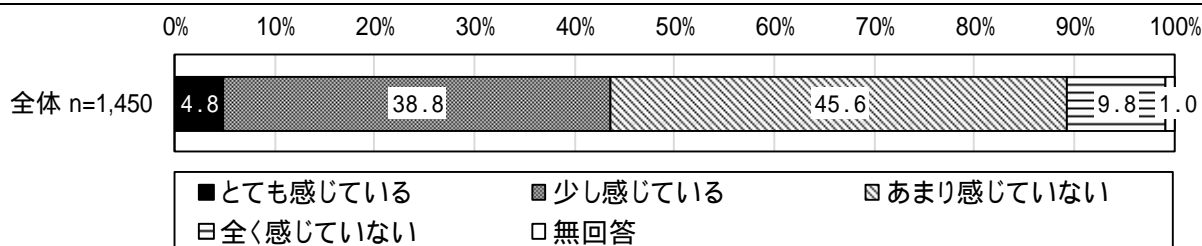
あなたは、お住まいの地域の住民同士の支えあいについて、どのように感じていますか。
 (から の項目について、あなたのお気持ちに一番近い答えの番号1つに)



地域の住民同士の支え合いは、「とてもそう思う」、「ややそう思う」を合わせた『そう思う』と回答したもので多い項目は、「 災害が起こったとき、ご近所の人たちと助け合えると思いますか」(58.5%)、「 ご近所の人たちは、一般的に信頼できると思いますか」(49.6%)、「 あなたは、居住する地域で他の人の役に立ちたいと思いますか」(57.3%)、「 あなたは、現在住んでいる地域に誇りや愛着を感じていますか」(60.1%) となっています。

地域の支え合いについて

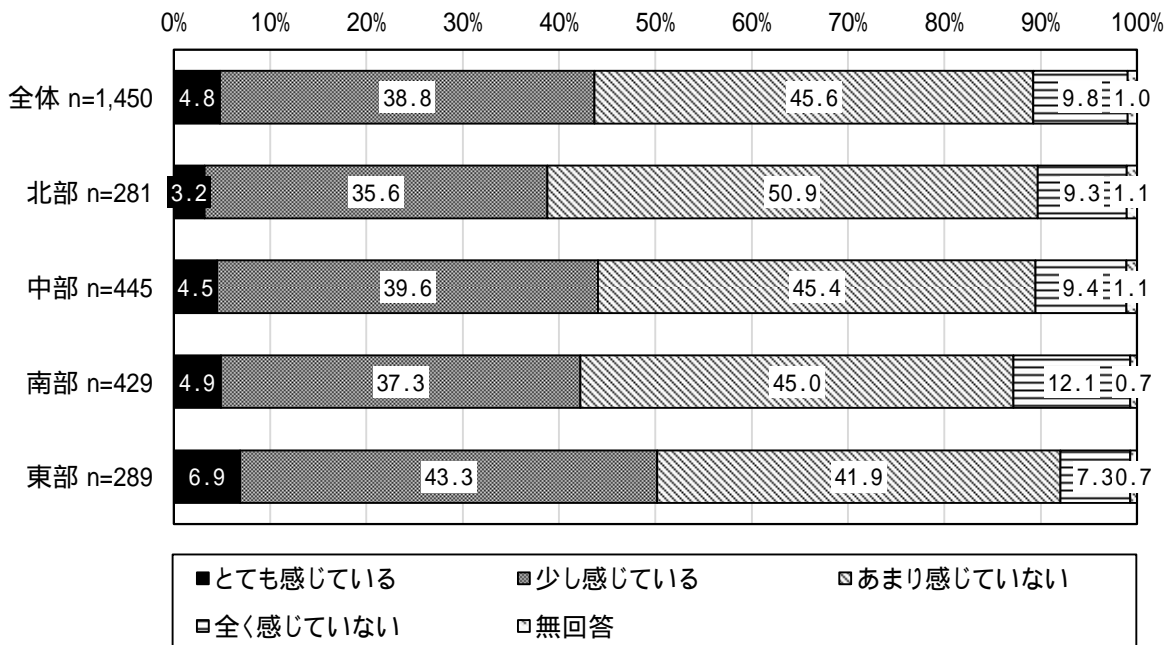
あなたのお住まいの地域では、子ども、高齢者、障害者を含めて、お互いの生活を地域全体で支えあっていると感じていますか。(あてはまるもの1つに)



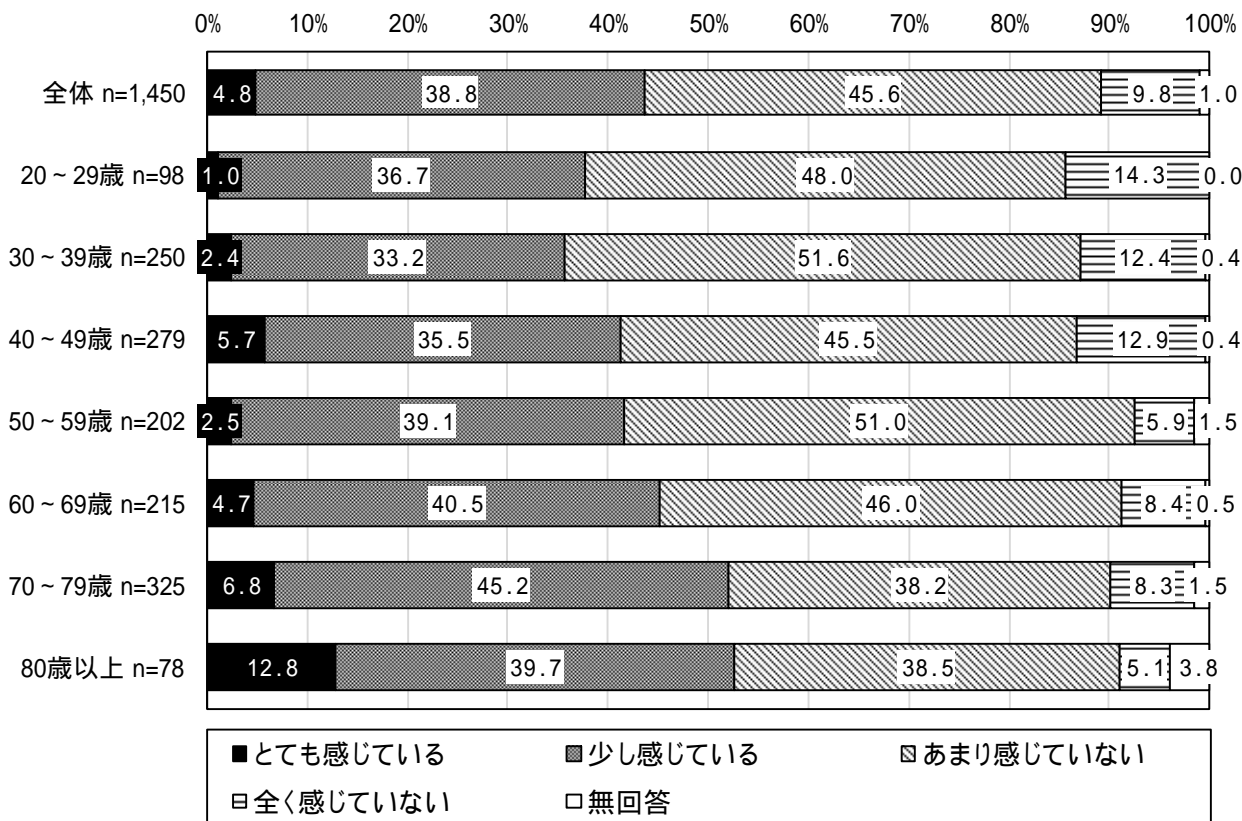
お互いの生活を支えあっていると思うかは、「とても感じている」(4.8%)、「少し感じている」(38.8%)を合わせて43.6%が『感じている』と回答しています。

また、居住地区別では、中部、東部では『感じている』の割合が全体よりも高くなっています。

居住地区別地域の支え合いについて

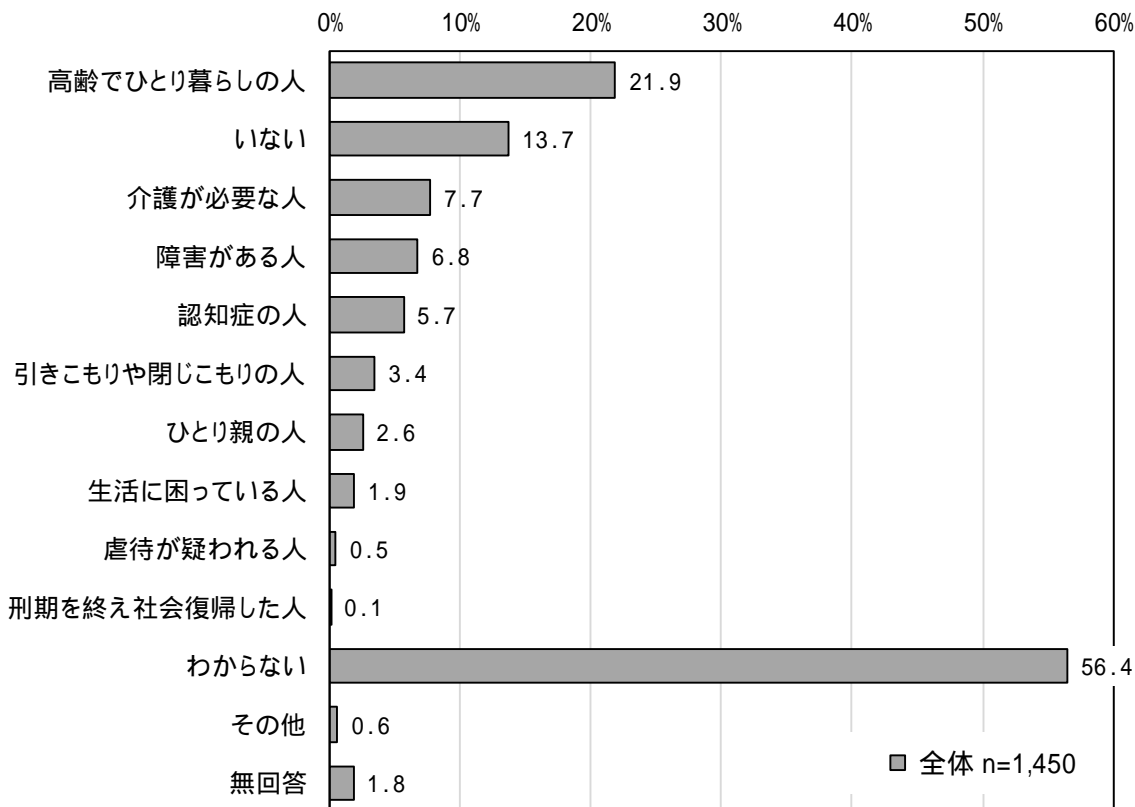


年代別地域の支え合いについて



お住まいの地域で手助け、協力・支援が必要な人

あなたのお住まいの地域では、次のような人で周囲の手助けや協力・支援が必要な人や、気にかかる人、何らかの問題を抱えている人はいますか。(あてはまるものすべてに)



手助け、協力・支援が必要な人は、「高齢でひとり暮らしの人」が 21.9%と最も高く、次いで「いない」が 13.7%、「介護が必要な人」が 7.7%となっています。

また、年代別では、年齢が挙がるごとに「高齢でひとり暮らしの人」、「認知症の人」、「介護が必要な人」の割合が高くなっています。

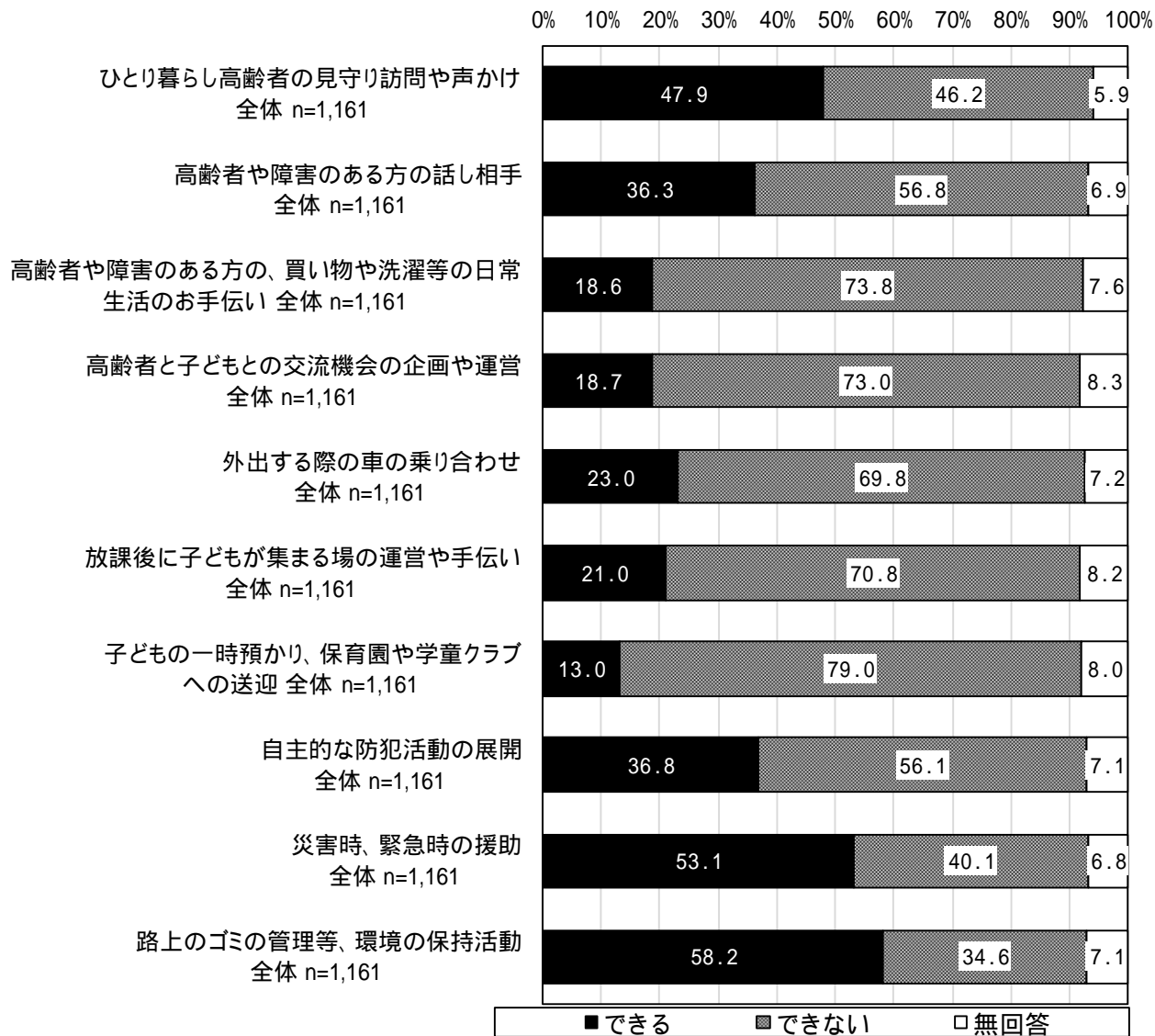
年代別・居住地区別お住いの地域で手助け、協力・支援が必要な人

		高齢でひとり暮らしの人	認知症の人	介護が必要な人	障害がある人	引きこもりや閉じこもりの人	虐待が疑われる人	生活に困っている人	刑期を終え社会復帰した人	ひとり親の人	いない	わからない	その他	無回答
全体 n=1,450		21.9	5.7	7.7	6.8	3.4	0.5	1.9	0.1	2.6	13.7	56.4	0.6	1.8
年代別	20～29歳 n=98	13.3	1.0	3.1	4.1	2.0	1.0	4.1	0.0	3.1	8.2	72.4	0.0	0.0
	30～39歳 n=250	10.8	3.2	6.0	2.4	0.8	0.8	1.6	0.0	2.4	11.2	72.0	0.8	0.8
	40～49歳 n=279	13.6	2.5	6.5	5.4	1.8	0.4	1.8	0.0	1.8	15.8	64.5	0.7	1.8
	50～59歳 n=202	22.8	5.9	6.4	5.9	4.0	1.0	2.0	0.0	4.5	10.4	55.4	1.0	1.5
	60～69歳 n=215	26.0	6.0	9.3	8.8	5.1	0.5	0.9	0.0	3.7	15.3	53.0	0.0	0.9
	70～79歳 n=325	35.1	9.5	9.8	10.8	5.5	0.0	1.8	0.3	1.5	15.1	39.1	0.9	3.7
	80歳以上 n=78	29.5	12.8	14.1	9.0	5.1	0.0	1.3	0.0	1.3	19.2	41.0	0.0	2.6
地区別	北部 n=281	25.3	6.4	9.3	7.5	6.4	0.0	1.4	0.4	1.8	15.7	50.5	0.4	0.7
	中部 n=445	19.1	6.1	7.6	7.2	1.6	1.1	1.8	0.0	2.0	14.2	57.5	1.3	2.2
	南部 n=429	21.9	4.4	6.5	7.0	3.0	0.0	2.6	0.0	3.7	13.5	58.3	0.2	1.9
	東部 n=289	22.8	6.2	8.3	5.2	4.2	0.7	1.0	0.0	2.4	11.4	57.8	0.3	1.7

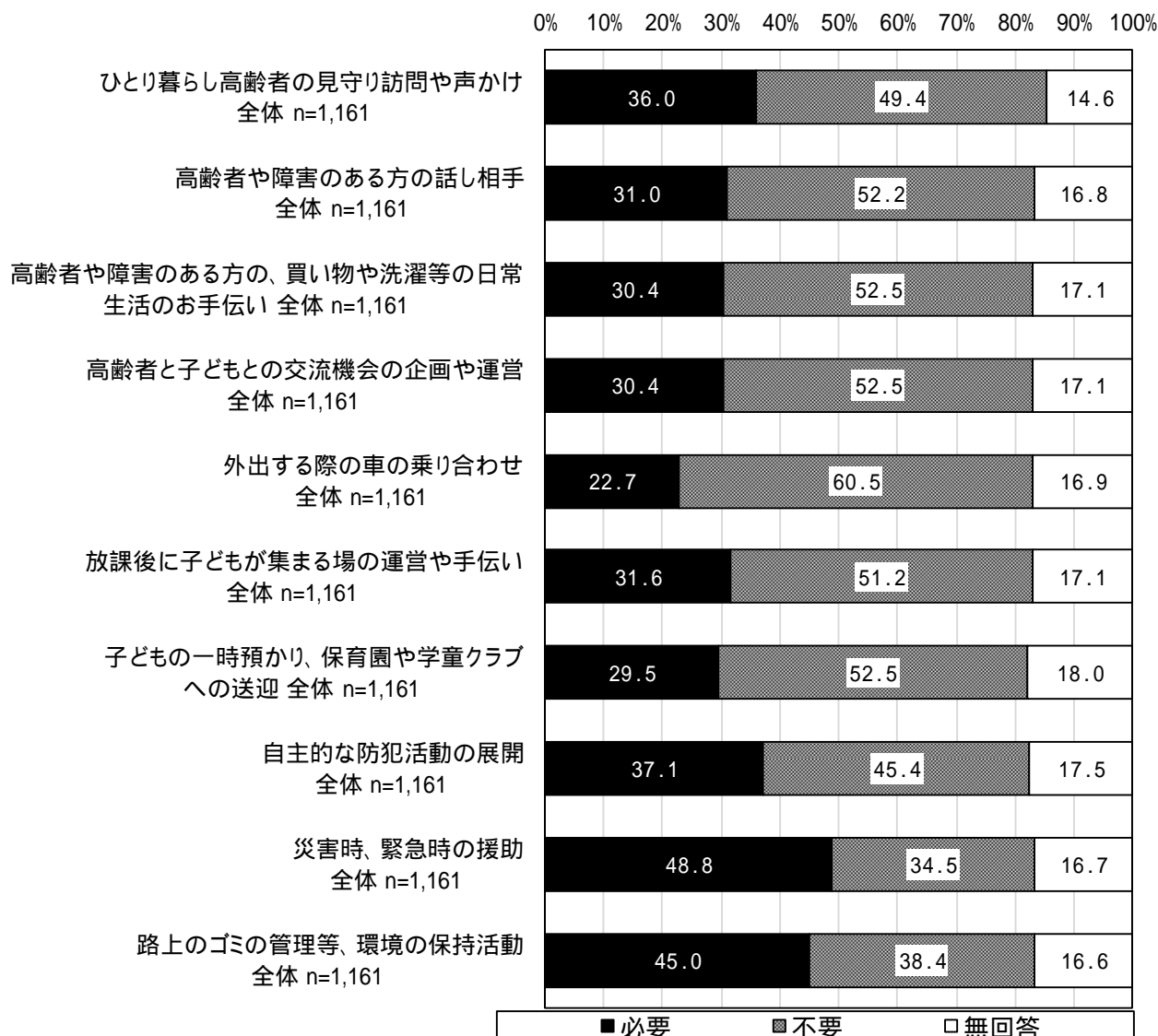
支え合い活動について

住民同士の支え合い活動として、あなたはどのようなことができると思いますか。
 また、隣近所の人に手助けをしてもらうとしたらどのようなことをしてほしいですか。(から
 の項目について、あなたのお気持ちに一番近い答えの番号を、(1)(2)それぞれ1つに)

(1) その活動ができますか



(2) 手助けが必要ですか



(1) その活動ができますか

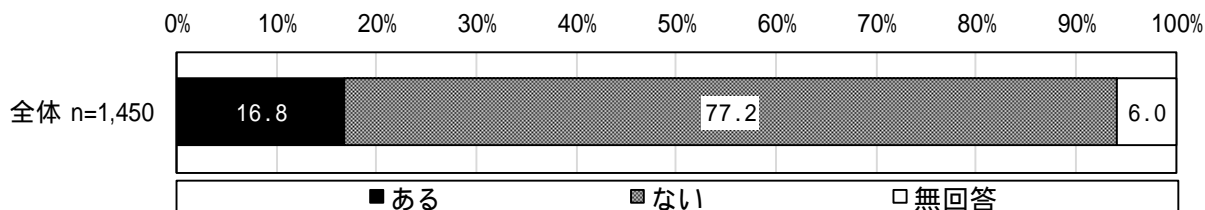
住民同士での支え合い活動として「できる」と回答したもので多い項目は、「路上のゴミの管理等、環境の保持活動」(58.2%)、「ひとり暮らし高齢者の見守り訪問や声かけ」(47.9%)、「災害時、緊急時の援助(避難所への誘導等)」(37.1%)となっています。

(2) 手助けが必要ですか

住民同士の支え合い活動のうち、隣近所の人から援助を受けたいものとして、「災害時、緊急時の援助(避難所への誘導等)」(48.8%)、「路上のゴミの管理等、環境の保持活動」(45.0%)、「自主的な防犯活動の展開(自治会パトロール等)」(37.1%)となっております。

日常生活で困っていること

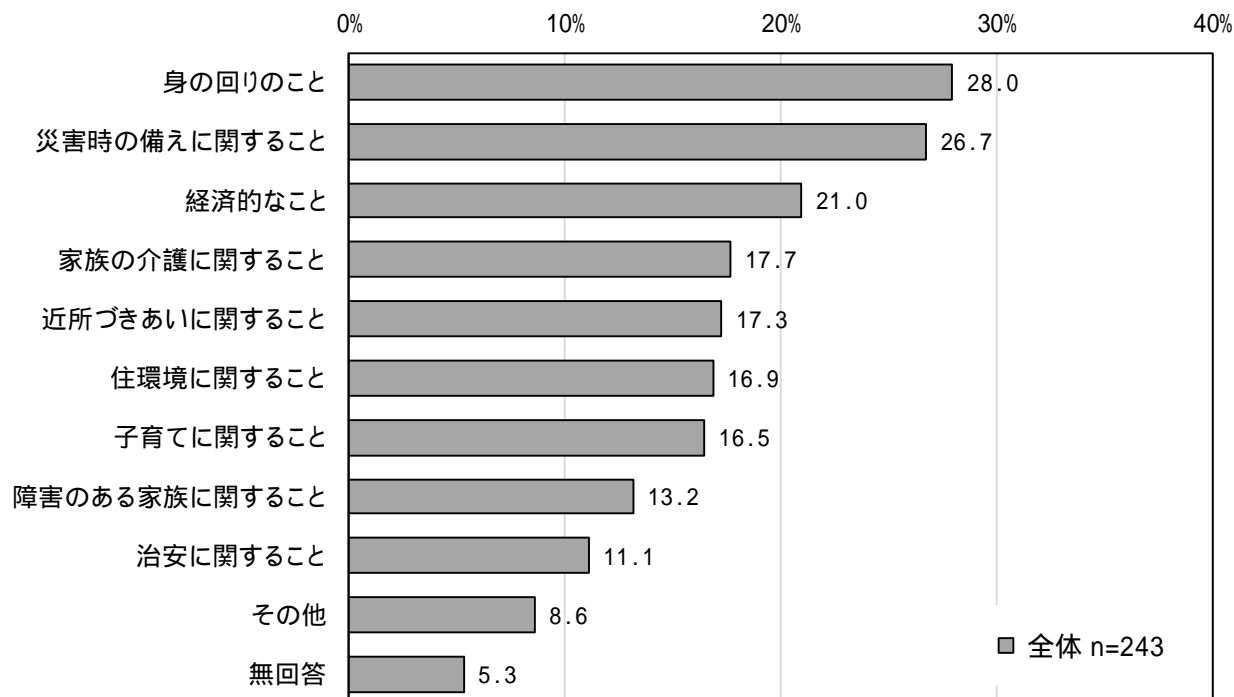
あなたやあなたの身近な人が、日常生活で何か困っていることはありますか。
 (あてはまるもの1つに)



日常生活での困りごとが、「ない」と回答した人は77.2%で、「ある」(16.8%)と回答した人の4倍以上となっています。

日常生活で困っている内容

あなたや身近な人が、日常生活で困っていることはどのようなことですか。
 (あてはまるものすべてに)



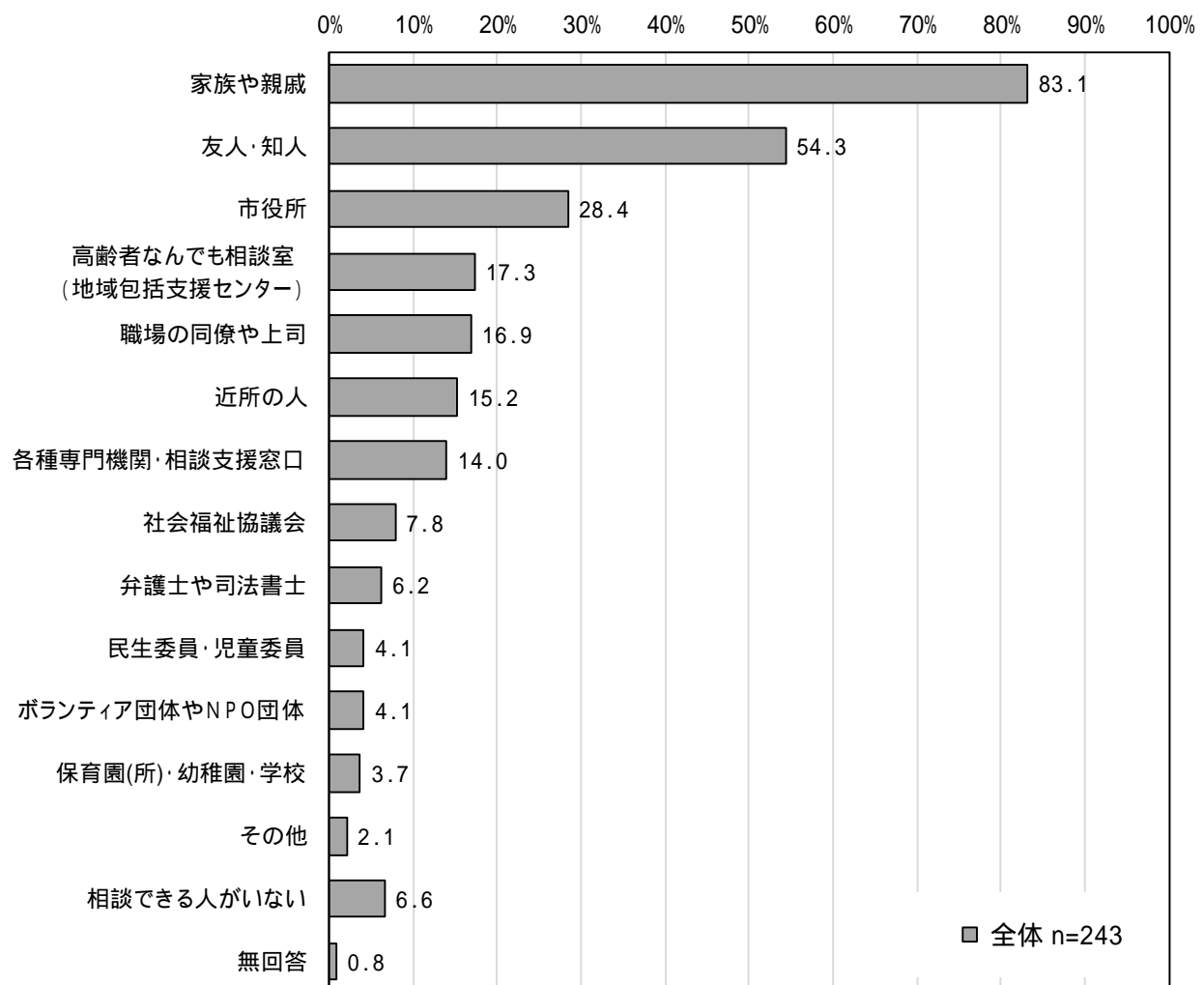
日常生活の困りごとは、「身の回りのこと」が28.0%と最も高く、次いで「災害時の備えに関すること」が26.7%、「経済的なこと」が21.0%となっています。

年代別・居住地区別日常生活で困っている内容

		身の回りのこと	子育てに関すること	家族の介護に関すること	障害のある家族に関すること	経済的なこと	住環境に関すること	治安に関すること	災害時の備えに関すること	近所づきあいに関すること	その他	無回答
全体 n=243		28.0	16.5	17.7	13.2	21.0	16.9	11.1	26.7	17.3	8.6	5.3
年代別	20～29歳 n=21	28.6	33.3	4.8	4.8	61.9	14.3	14.3	28.6	14.3	9.5	4.8
	30～39歳 n=42	21.4	33.3	14.3	16.7	11.9	7.1	16.7	31.0	26.2	9.5	7.1
	40～49歳 n=50	18.0	24.0	20.0	18.0	24.0	14.0	6.0	26.0	10.0	10.0	8.0
	50～59歳 n=42	33.3	7.1	19.0	16.7	26.2	16.7	7.1	19.0	16.7	4.8	2.4
	60～69歳 n=31	29.0	9.7	19.4	12.9	6.5	22.6	12.9	22.6	22.6	12.9	0.0
	70～79歳 n=38	34.2	2.6	23.7	7.9	10.5	21.1	10.5	23.7	18.4	7.9	5.3
	80歳以上 n=19	42.1	0.0	15.8	5.3	21.1	31.6	15.8	47.4	10.5	5.3	10.5
地区別	北部 n=50	22.0	14.0	18.0	14.0	30.0	26.0	14.0	22.0	20.0	10.0	2.0
	中部 n=70	27.1	20.0	14.3	11.4	21.4	12.9	11.4	22.9	22.9	8.6	10.0
	南部 n=70	34.3	20.0	15.7	18.6	17.1	12.9	7.1	34.3	12.9	8.6	5.7
	東部 n=52	26.9	9.6	25.0	7.7	17.3	19.2	13.5	25.0	13.5	7.7	1.9

困ったときの相談相手

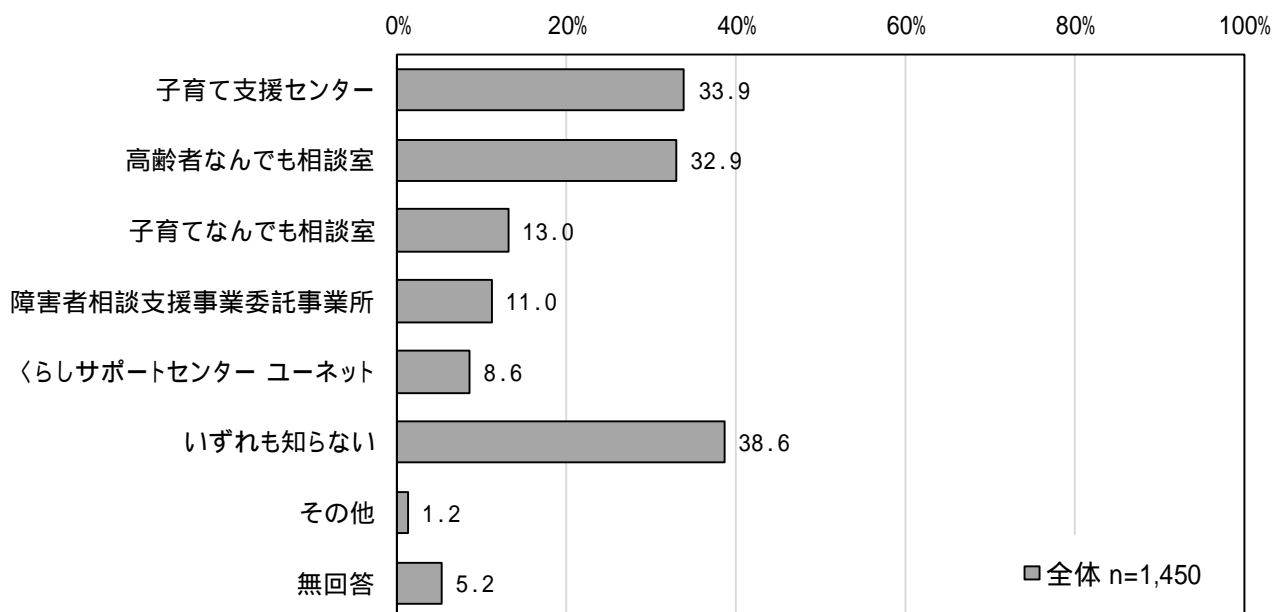
あなたは日常生活で困った時、誰に相談しようと思いますか。(あてはまるものすべてに)



困ったときの相談相手は、「家族や親戚」が83.1%と最も高く、次いで「友人・知人」が54.3%、「市役所」が28.4%となっています。

相談支援窓口

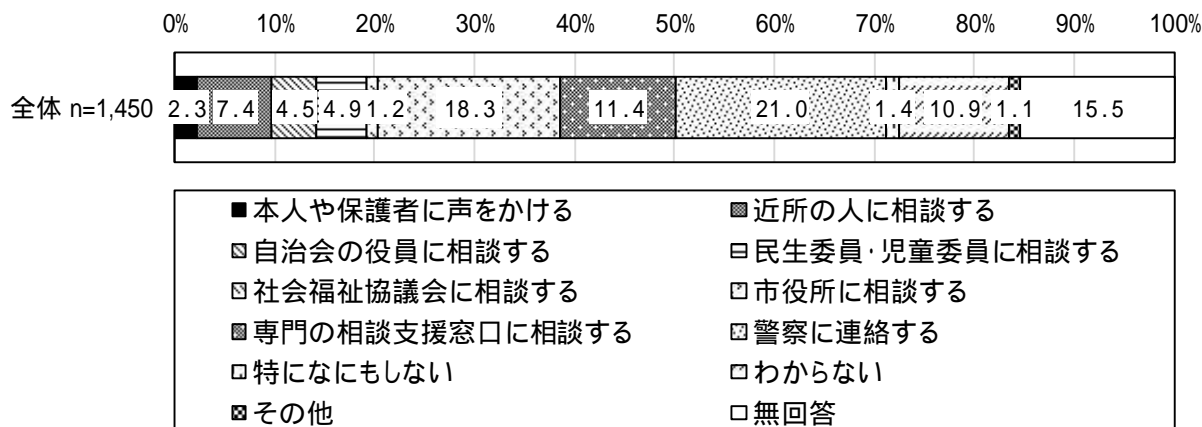
あなたは、次の相談支援窓口を知っていますか。(あてはまるものすべてに)



相談支援窓口を知っていますかは、「子育て支援センター」が33.9%と最も高く、次いで「高齢者なんでも相談室」が32.9%、「子育てなんでも相談室」が13.0%となっています。

虐待疑いの発見時の対応

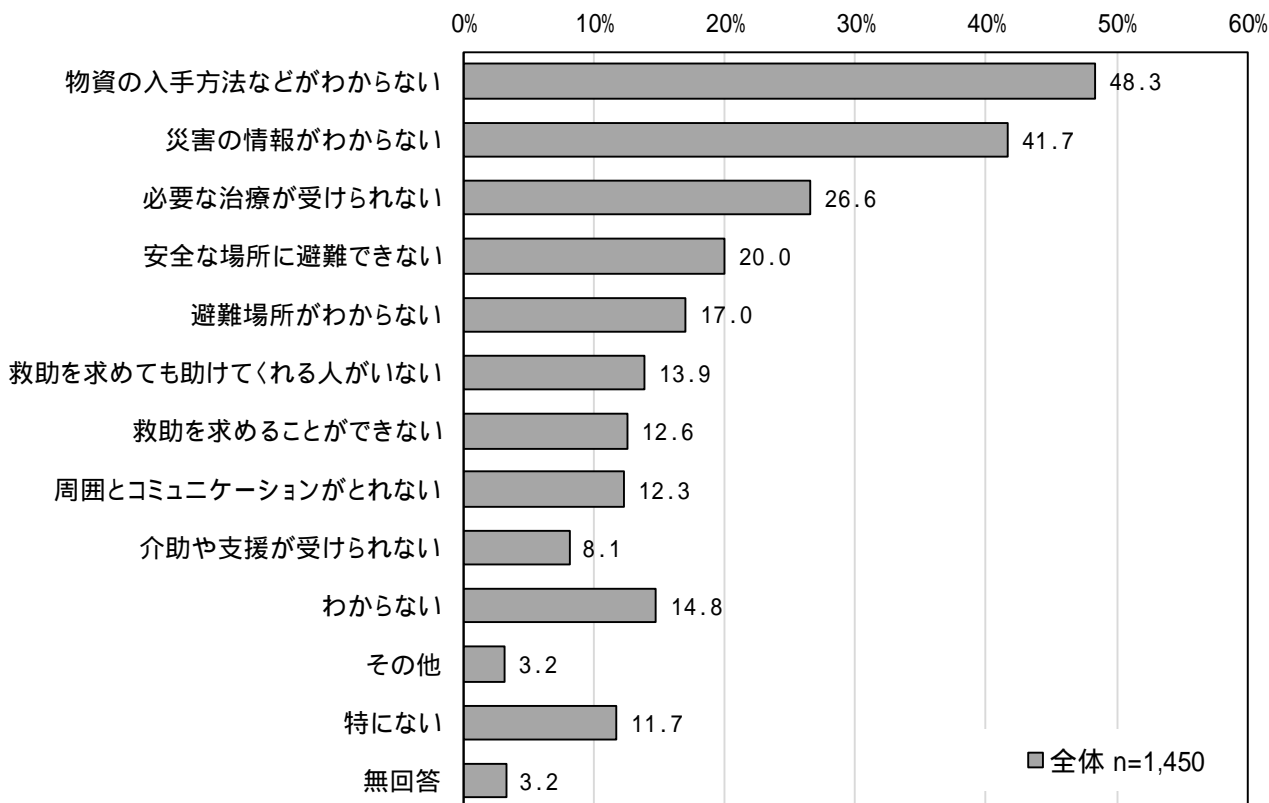
もし、あなたの周辺で児童や高齢者等に対して虐待などが疑われる状況を知ったら、あなたはどのように対応しますか。(あてはまるもの1つに)



虐待疑いの発見時の対応は、「警察に連絡する」が21.0%と最も高く、次いで「市役所に相談する」が18.3%、「専門の相談支援窓口相談する」が11.4%となっています。

災害時に困ること

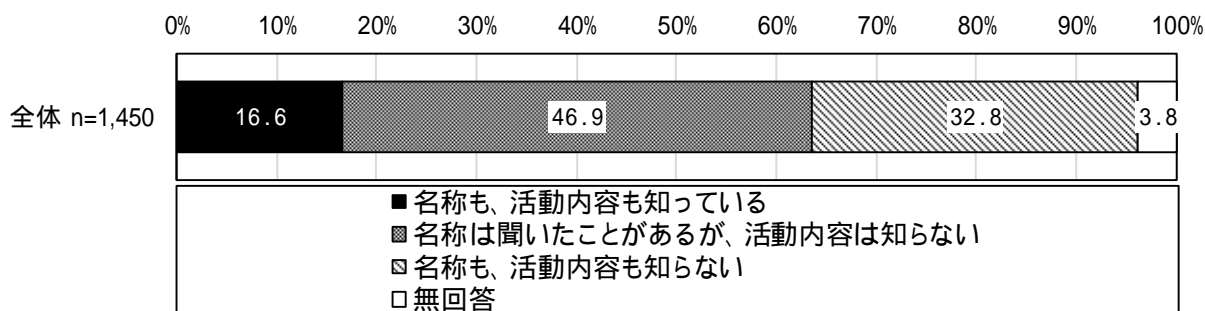
あなたは、地震などの災害が発生した時に、困ることはどのようなことだと思いますか。
 (あてはまるものすべてに)



災害時に困ることは、「物資の入手方法などがわからない」が48.3%と最も高く、次いで「災害の情報がわからない」が41.7%、「必要な治療が受けられない」が26.6%となっています。

流山市社会福祉協議会の認知度

流山市社会福祉協議会についてご存知ですか。(あてはまるもの1つに)

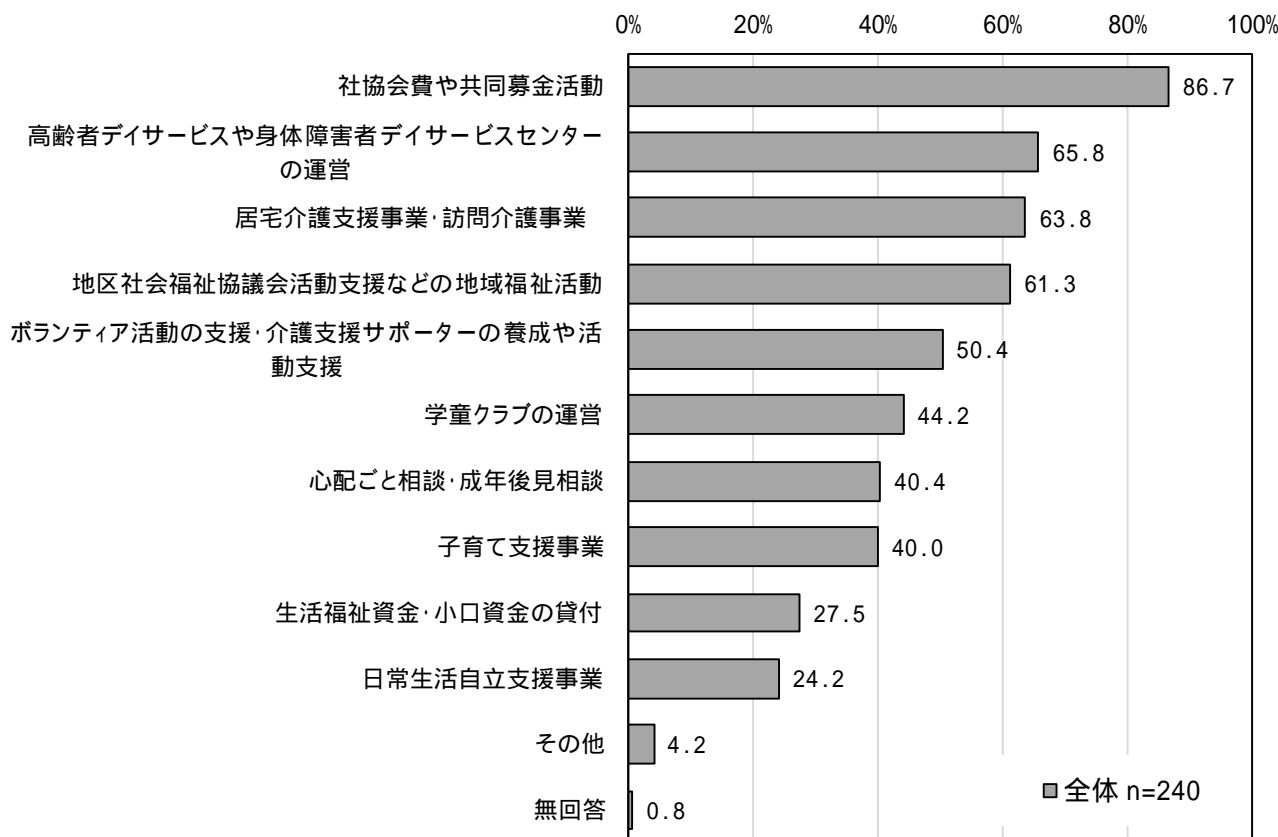


「流山市社会福祉協議会」の認知度は、「名称は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」が46.9%と最も高く、「名称も、活動内容も知っている」は16.6%にとどまっています。

また、「名称も、活動内容も知らない」は32.8%と社会福祉協議会を知らない方が3割程度います。

社会福祉協議会の活動の認知度

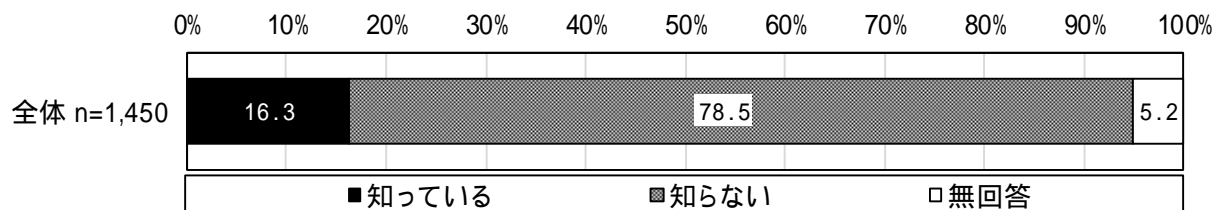
流山市社会福祉協議会の活動として、ご存知のものについてお聞かせください。
(あてはまるものすべてに)



「流山市社会福祉協議会」の名称も活動も大体知っているとは回答した 240 人に、社会福祉協議会の活動で知っているものについてたずねたところ、「社協会費や共同募金活動」が 86.7%と最も高く、次いで、「高齢者デイサービスや身体障害者デイサービスセンターの運営」が 65.8%、「居宅介護支援事業・訪問介護事業」が 63.8%となっています。

民生委員・児童委員の認知度

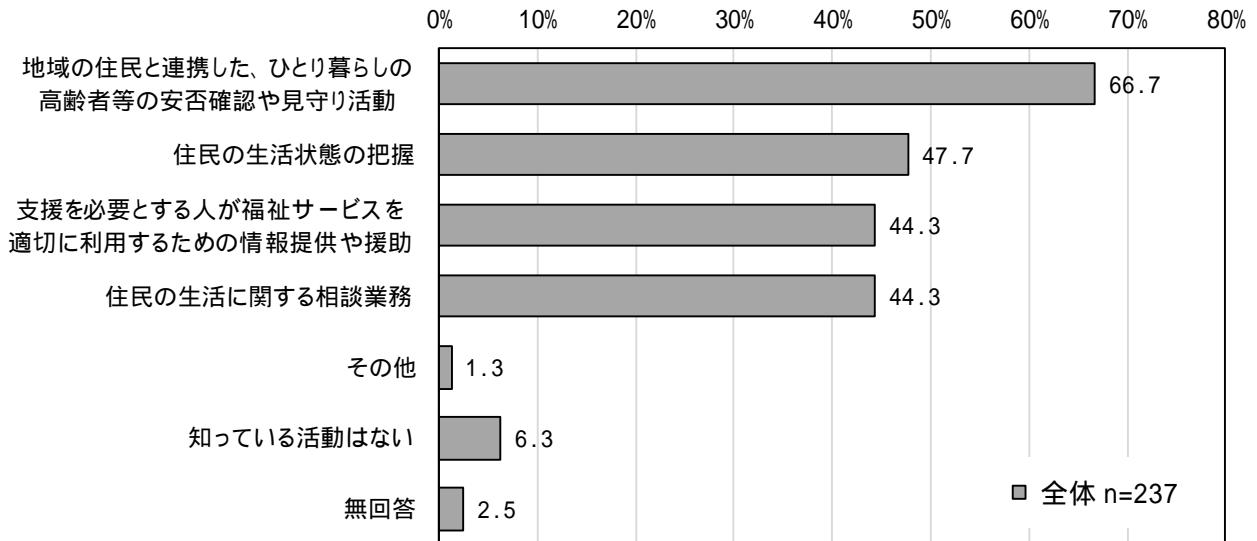
お住まいの地域の民生委員・児童委員が誰かご存知ですか。(あてはまるもの1つに)



居住地区の担当民生委員・児童委員が誰であるかの認知度は、「知らない」が 78.5%と過半数を占めています。

民生委員・児童委員の活動の認知度

民生委員・児童委員の活動として、ご存知のものについてお聞かせください。
 (あてはまるものすべてに)

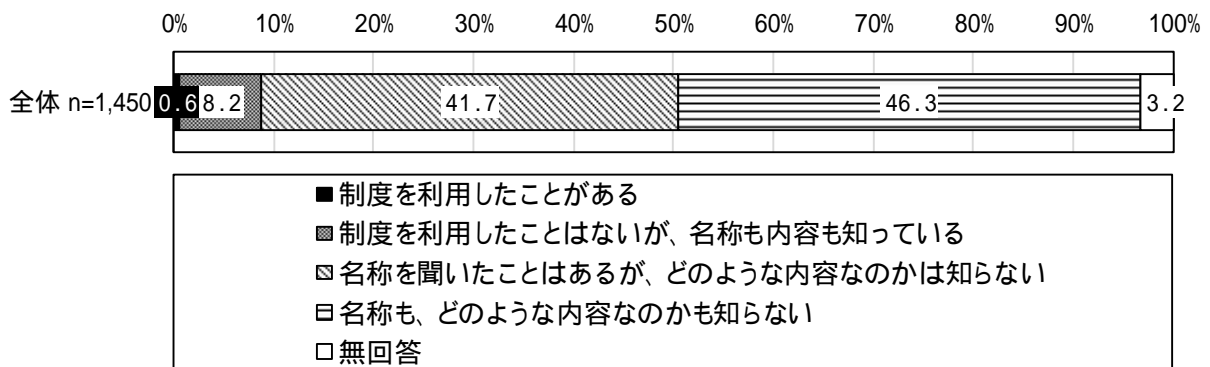


民生委員・児童委員が行っている活動として知っているものは、「地域の住民と連携した、ひとり暮らしの高齢者等の安否確認や見守り活動」が 66.7%で最も高く、次いで「住民の生活状態の把握」が 47.7%、「支援を必要とする人が福祉サービスを適切に利用するための情報提供や援助」、「住民の生活に関する相談業務」がともに 44.3%となっています。

一方、「知っている活動はない」は 6.3%と少なからず見受けられます。

生活困窮者自立支援制度の認知度

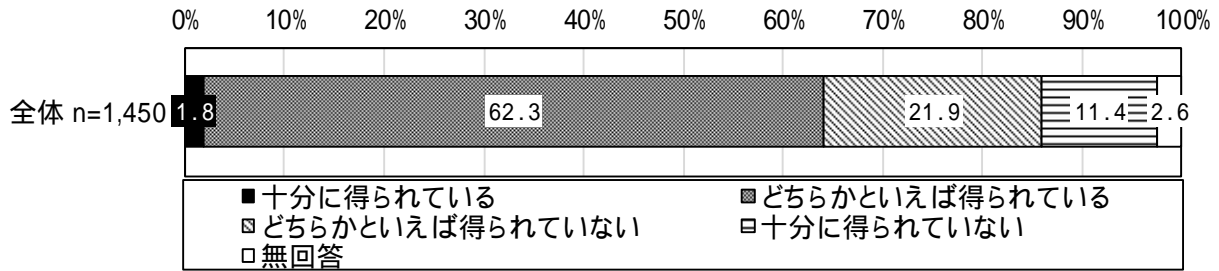
あなたは、生活困窮者自立支援制度についてご存知ですか。(あてはまるもの1つに)



生活困窮者自立支援制度は、「名称も、どのような内容なのかも知らない」が 46.3%と最も高く、「制度を利用したことはないが、名称も内容も知っている」は 8.2%にとどまっています。

地域や社会の情報の取得状況

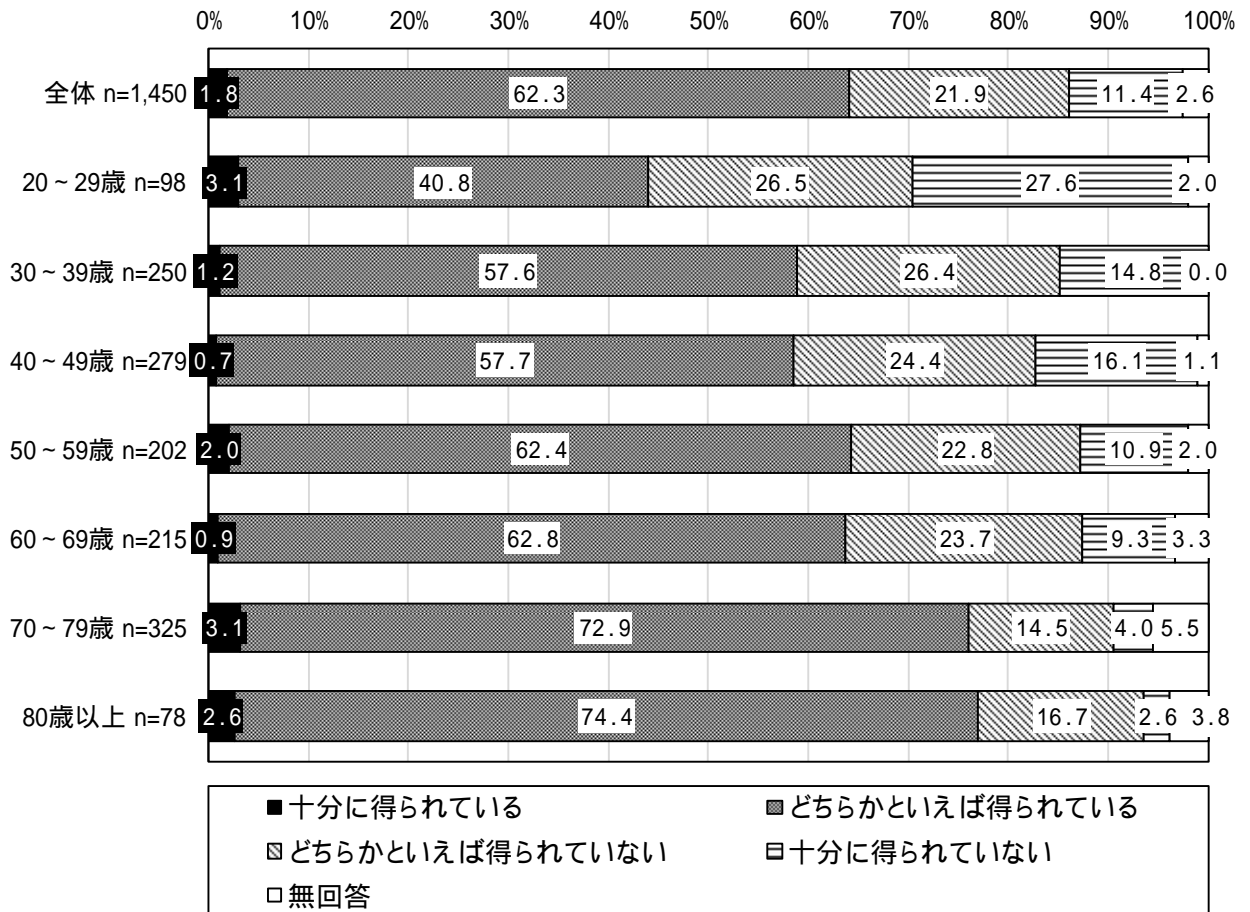
あなたは、地域や社会に関する情報を十分に得られていると思いますか。
 (あてはまるもの1つに、「3」「4」を選んだ場合はその理由も教えてください)



地域や社会に関する情報は、「十分に得られている」(1.8%)、「どちらかといえば得られている」(62.3%)を合わせて64.1%が情報を『得られている』と回答しています。

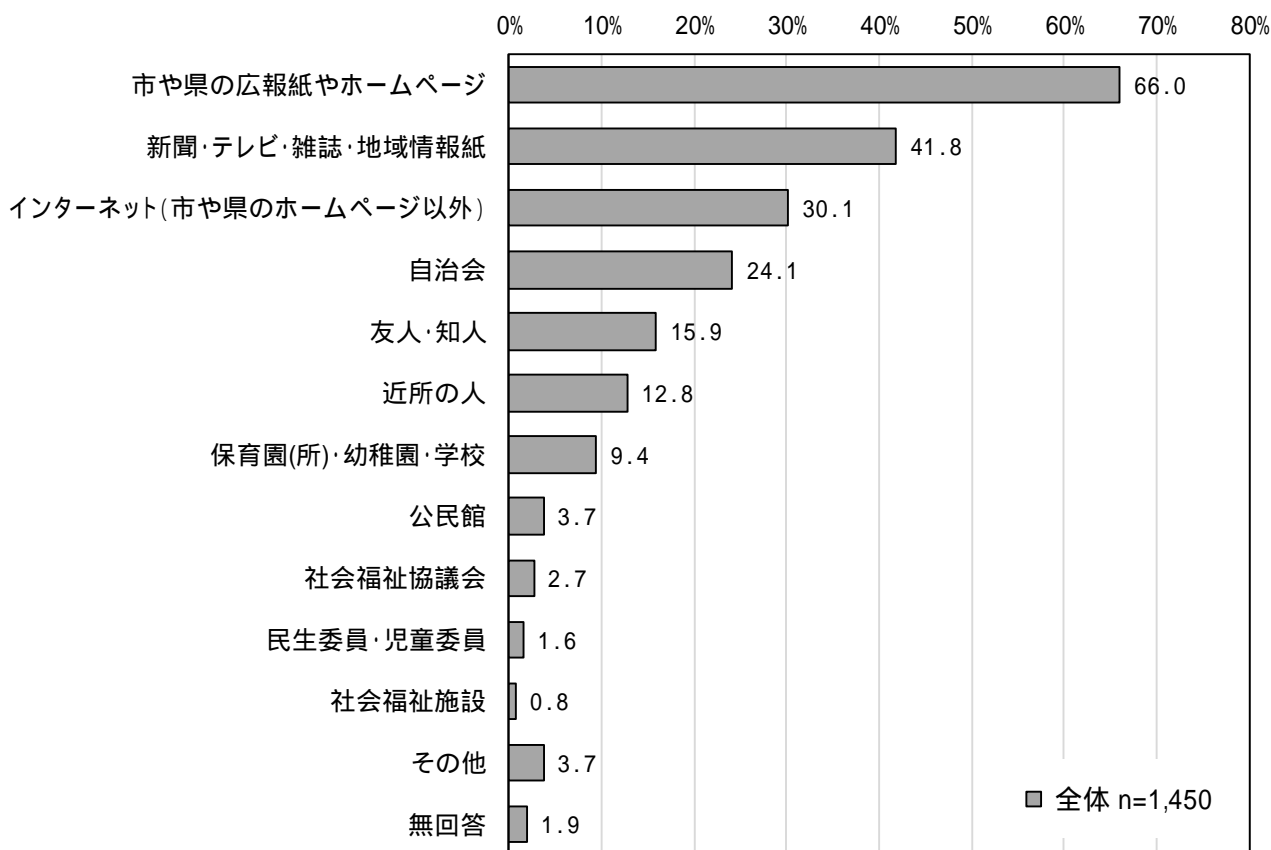
また、年代別では、「十分に得られていない」が、20~29歳で高くみられます。

年代別地域や生活の情報の取得状況



地域や社会の情報の入手方法

あなたは、地域や社会に関する情報をどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに)



地域や社会に関する情報の入手方法は、「市や県の広報紙やホームページ」が66.0%と最も高く、次いで「新聞・テレビ・雑誌・地域情報紙」が41.8%、「インターネット(市や県のホームページ以外)」が30.1%となっています。

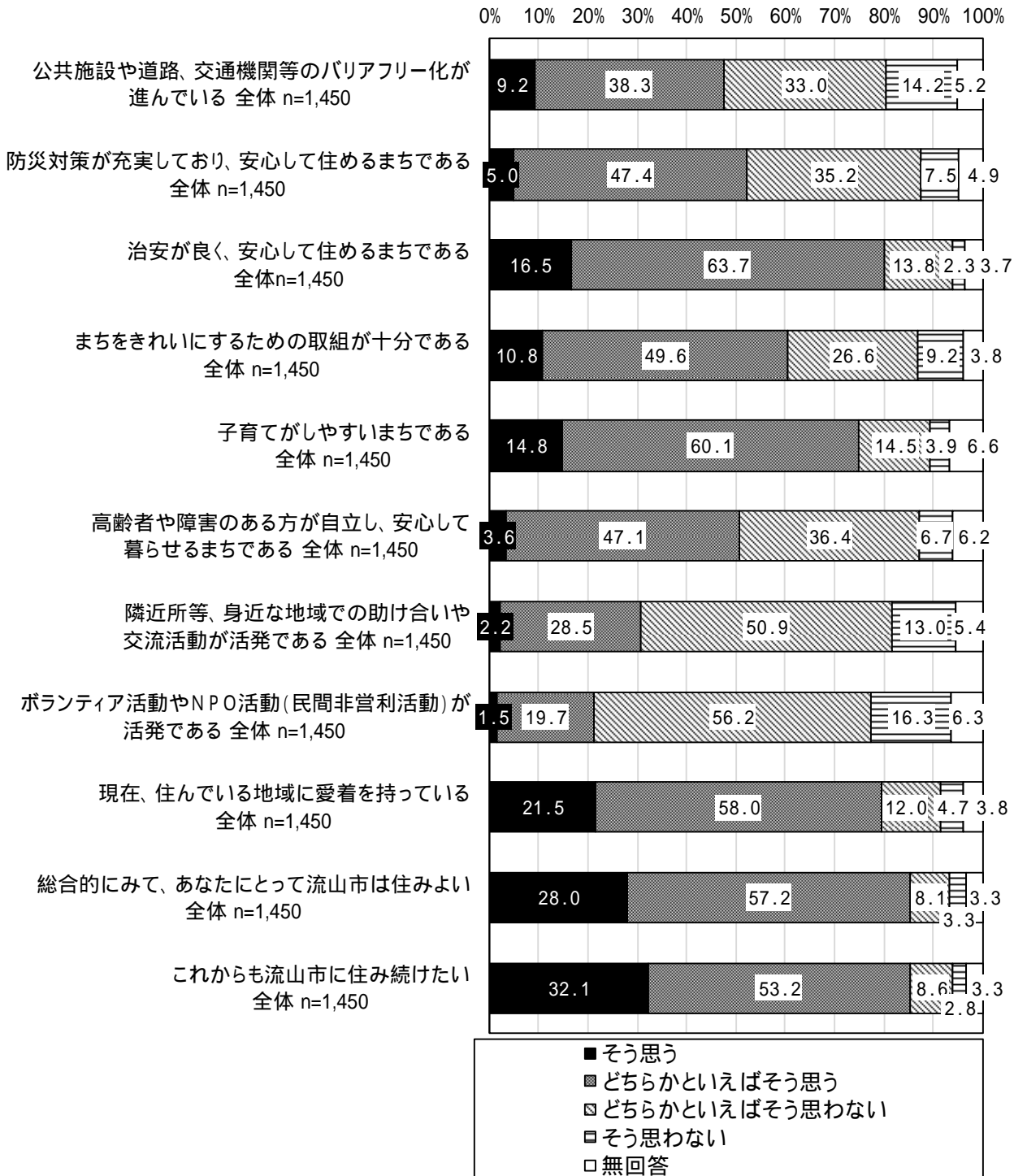
また、年代別では、20～49歳では、「インターネット(市や県のホームページ以外)」、60～69歳では「自治会」、「新聞・テレビ・雑誌・地域情報紙」の割合が比較的高く、すべての年代で「市や県の広報紙やホームページ」が上位に挙がっています。

年代別・居住地区別地域の地域や社会の情報の入手方法

		市や県の広報紙やホームページ	公民館	社会福祉協議会	社会福祉施設	民生委員・児童委員	自治会	近所の人	友人・知人	保育園(所)・幼稚園・学校	新聞・テレビ・雑誌・ 地域情報紙	インターネット (市や県のホームページ以外)	その他	無回答
全体 n=1,450		66.0	3.7	2.7	0.8	1.6	24.1	12.8	15.9	9.4	41.8	30.1	3.7	1.9
年代別	20～29歳 n=98	48.0	3.1	1.0	1.0	0.0	7.1	6.1	14.3	5.1	35.7	44.9	9.2	2.0
	30～39歳 n=250	58.0	2.4	0.4	0.4	0.0	9.6	11.2	16.8	23.6	32.8	45.2	4.8	3.2
	40～49歳 n=279	58.8	2.5	0.0	0.0	0.7	16.5	14.3	14.7	22.2	31.9	41.2	5.7	1.8
	50～59歳 n=202	67.3	1.5	1.0	1.0	0.5	18.3	8.9	16.3	2.0	43.1	32.2	4.5	0.5
	60～69歳 n=215	74.0	2.8	1.9	0.5	0.9	29.3	13.0	15.3	1.4	48.4	24.7	0.9	2.3
	70～79歳 n=325	75.1	7.1	6.8	0.9	4.3	41.8	15.1	16.0	0.9	48.9	12.9	1.8	1.8
	80歳以上 n=78	75.6	6.4	11.5	3.8	5.1	47.4	19.2	19.2	1.3	62.8	6.4	0.0	1.3

お住まいの地域や周辺的环境

あなたがお住まいの地域や周辺的环境について、どのように思いますか。
 (から の項目について、あなたのお気持ちに一番近い答えの番号1つに)

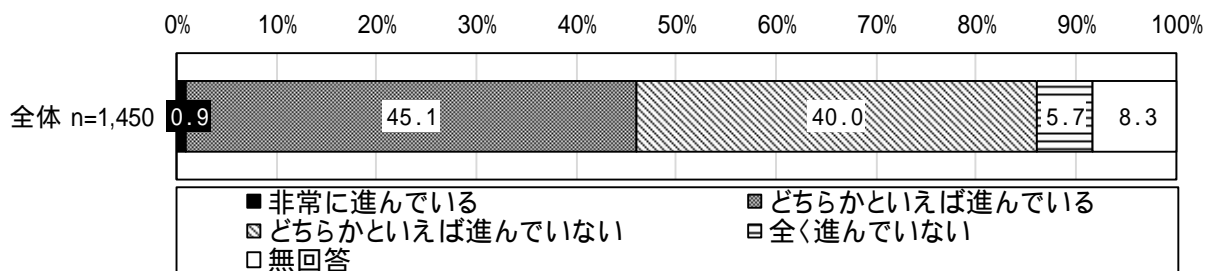


居住している地域や周辺的环境は、「治安が良く、安心して住めるまちである」、「現在、住んでいる地域に愛着を持っている」、「総合的にみて、あなたにとって流山市は住みよい」、「これからも流山市に住み続けたい」で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が高く、住み続けたいまちであることがわかります。

一方、「隣近所等、身近な地域での助け合いや交流活動が活発である」や「ボランティア活動やNPO活動(民間非営利活動)が活発である」などは低く、地域福祉推進の必要性が表れています。

市民と行政の協働（パートナーシップ）

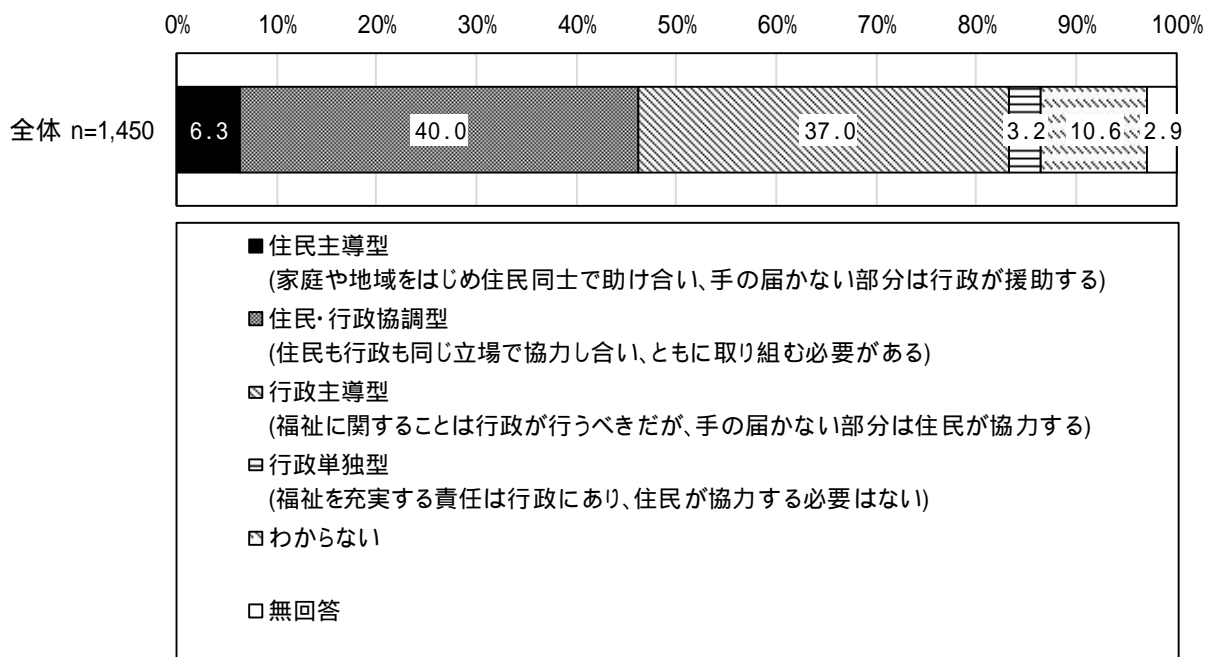
あなたは、流山市の地域福祉に関する市民と行政の協働（パートナーシップ）について、どのように感じていますか。（あてはまるもの1つに ）



流山市の地区福祉に関する市民と行政の協働（パートナーシップ）は、「非常に進んでいる」（0.9%）、「どちらかといえば進んでいる」（45.1%）を合わせて46.0%が、協働が『進んでいる』と回答しています。

市民と行政との関係

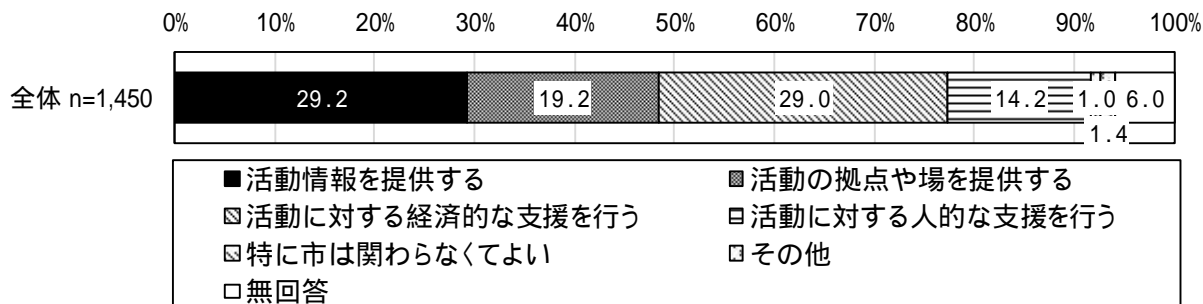
地域での福祉活動を充実させていくうえで、市民と行政との関係はどのようなかたちが望ましいと思いますか。（あてはまるもの1つに ）



市民と行政との関係は、住民も行政も同じ立場で協力し合い、ともに取り組む必要があるとする「住民・行政協調型」が40.0%を占め最も高いものの、福祉に関することは行政が行うべきだが、手の届かない部分は住民が協力するとする「行政主導型」も37.0%と高くなっています。

福祉活動に対する支援

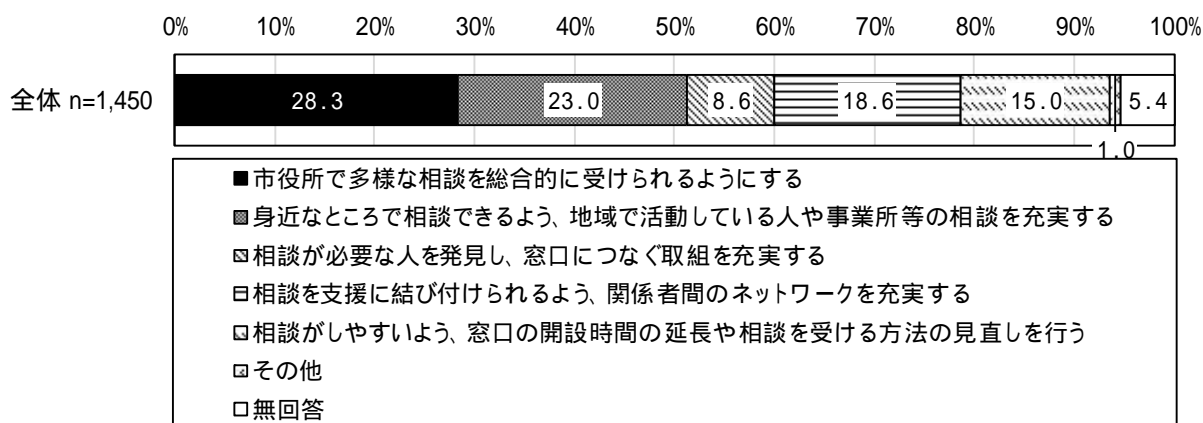
あなたは、地域での福祉活動に対し行政からどのような支援が最も必要だと思いますか。
(あてはまるもの1つに)



福祉活動に対する支援は、「活動情報を提供する」が29.2%で最も高く、次いで「活動に対する経済的な支援を行う」が29.0%、「活動の拠点や場を提供する」が19.2%となっています。

相談支援体制の充実

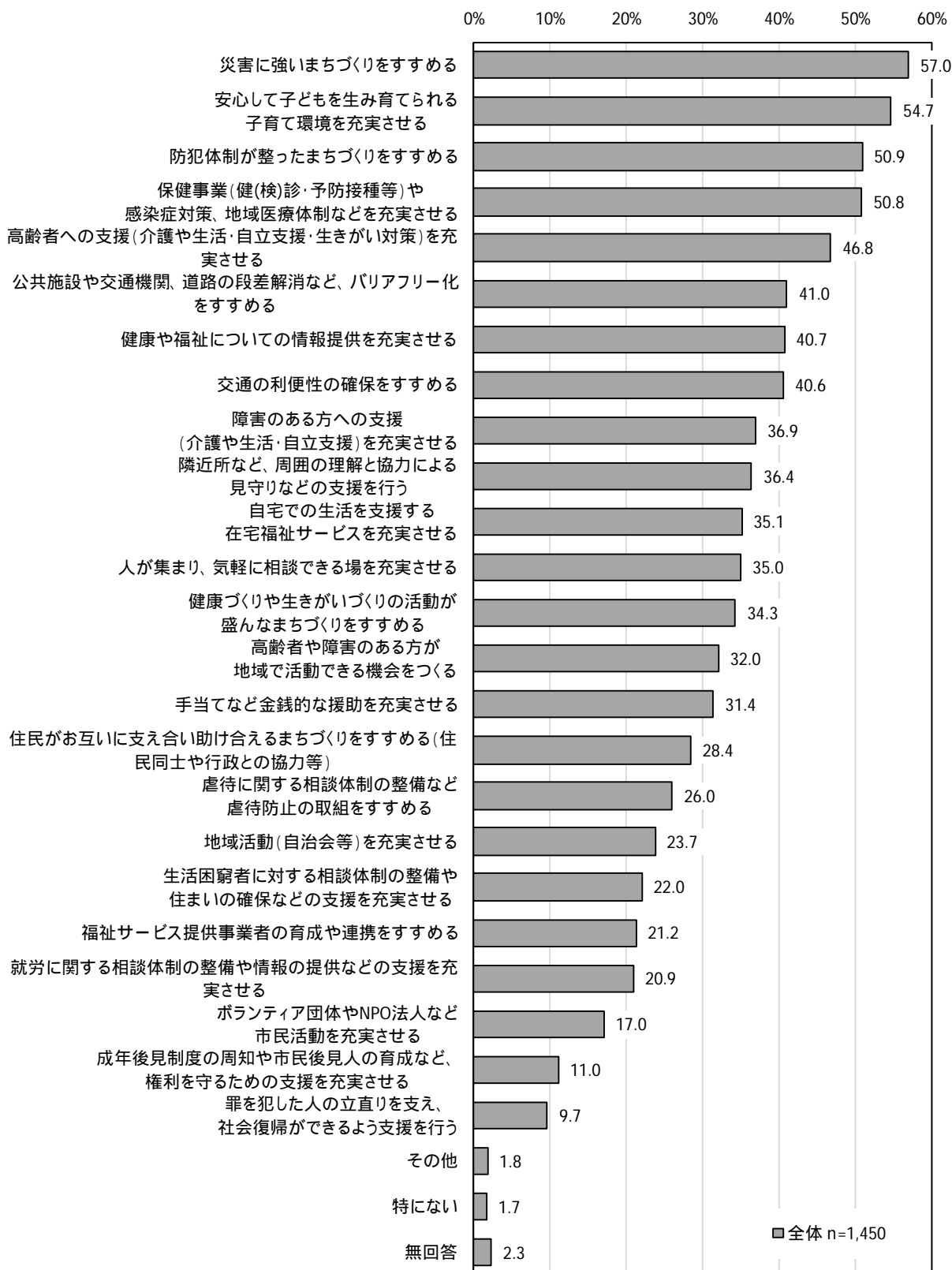
地域共生社会では、様々な生活課題に制度の枠を超えて横断的に対応する相談支援体制が求められます。流山市がそうした相談支援を充実していくうえで、どのような取組に最も力を入れるべきだと思いますか。(あてはまるもの1つに)



相談支援体制の充実は、「市役所で多様な相談を総合的に受けられるようにする」が28.3%で最も高く、次いで「身近なところで相談できるよう、地域で活動している人や事業所等の相談を充実する」が23.0%、「相談を支援に結び付けられるよう、関係者間のネットワークを充実する」が18.6%となっています。

安心して生活するための取組

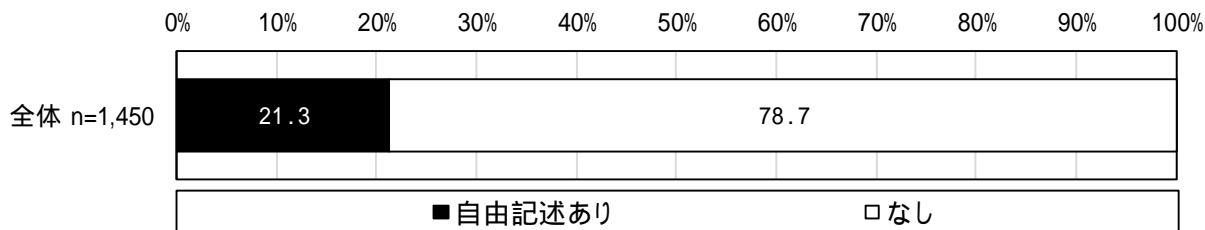
誰もが住み慣れた地域で安心して生活していくために、どのような取組が必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに)



誰もが住み慣れた地域で安心して生活していくためには、「災害に強いまちづくりをすすめる」が57.0%と最も高く、次いで、「安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる」が54.7%、「防犯体制が整ったまちづくりをすすめる」が50.9%となっています。

問 51 自由記述

あなたは、地域での福祉活動に対し行政からどのような支援が最も必要だと思いますか。
(あてはまるもの1つに)



自由記述は、309人(21.3%)から回答がありました。

北部

高齢者に関すること

男/20～29歳	高齢者福祉という意味では、これからも高齢者は増え続けるのだから、老人ホームのような民間サービスの拡充化が重要なのではと感じる。すなわち、入居者への経済的な援助や職員の給与、施設設備への投資が急務であると感じる。コロナ禍、経済不況、インフレなどにより、流山も財政支出を増やしたり、行政の役割が拡大したりするのはある程度必要なのではないかと感じる。現代においては、豊かな生活を一度経験していることにより、福祉的な要求は、個々に無数にわたると思うので、柔軟に対応できる組織づくりが必要だ(情報の即時共有、行政で対応できるか判断、関係組織での実行等)。それから、住民協力に参加できないのは、東京に働きに行っているからで、地元で働き口があれば、と思っている。地元産業を育成すれば、長期的に福祉にとってプラスになるのではないかと感じる。
女/30～39歳	公共機関をバリアフリーにしてほしい。高齢者の在宅支援をしてほしい。
男/40～49歳	高齢者はネットでの情報は得られにくいので、地域のサービス(施設やデイサービスなど)でも情報を知ることが出来たり、外へ出ない方にも大切な情報がきちんと届くような仕組みづくりをお願いします。
女/40～49歳	介護保険でのサービス利用の適応ではないが、高齢のため買物や通院など自力での移動が難しい方の支援等があれば安心して暮らせると感じます。
女/70～79歳	地域福祉に関して、活動、努力をして下さる方々に深く感謝申し上げます。多々のご苦労をなさり、地域の方々の生活を見守って下さり、私達はその恩恵を頂き暮らしています。しかし、このことを理解している市民は限られていて、多くの方はあたりまえの日常と思っているかもしれません。高齢者でも、まだまだ、健康で地域福祉活動に協力したい方々がいらっしゃると思います。長期にわたる協力ではなくてもその時々協力して下さる方がいたら、長期につなげられる活動も出来ると思います。多くの高齢者は、ささやかな人助けでもしたいと思っていますから、誰でも参加できるシステムを作って頂きたいと思っています。
男/70～79歳	元気な高齢者を増やすための意識づくり、活動しやすい雰囲気づくり。

女/80 歳以上	高齢者が増え、独居老人も増えています。そういう人たちがすぐに施設に入るのではなくて、住み慣れた地域で生活を続けていけるような具体的な対策が欲しい。コロナで老人たちが集まっておしゃべりもできなくなっています。みんなうつにならなければ良いのですが、どういう手段があるのだろうかと考えてしまいます。
障害者・児に関すること	
女/40～49 歳	福祉については身近に高齢の方、障害のある方がいないとあまり現実的に想像しにくいと思います。向き合うタイミングが来ないと全くどんなことが支援されているのかわかりません。私の子どもは言語の遅れがあり、子どもの言葉の教室を利用させていただきました。まず思ったのが、自ら調べていかないと、この支援に出会えなかったこと、活動されている先生方はとても素晴らしい方々でしたし、その方々がもっと活躍している姿を、一般の方に触れる機会があってよいと思います。誰もが福祉と向き合う可能性がある以上、もっと情報発信が必要だと思います。
男/60～69 歳	自宅周辺の住民の高齢化(自分も含む)が進んでいます。我々高齢者がこれから先安心して暮らせる生活環境整備に益々の取り組みをお願い致します。又、最近は発達障害の認知度も広がって来て「何か変な子」への学校の先生の対応も変わってきていると思います。成長すると共に生活困難も大きくなります。障害者への福祉サービスの向上もよろしくお願い致します。
女/70～79 歳	新型コロナの影響で地域の中での医療体制の不安を強く感じております。健康で過ごせてこそその活動になりますので、この点の充実を心から願っております。たまたま、娘には重度の障害がありますので、色々な面で動きにくいことが多々あります。即、生命にかかわる地域の医療体制の充実を願ってやみません。よろしく願います。
子ども・子育てに関すること	
女/20～29 歳	南流山に住んでいますが、周りの方々が優しくとても助かっています。特に子育て中なので、見守ってくれる方々が多いのは嬉しいですし、鯉ヶ崎小の見守りの方が多いのも有難いです。子育て世代が増えているので、保育園が今年の4月から増えるのも助かっています。ただ、産休からの復帰以外の、「就活」が必要な人へのサポートがもっとあったらいいのと思います。就活(面接)中に預かってくれるサポートとか。また、働いていた時期に、子どもが体調を崩した時のサポートがありませんでした(または無い様に感じます)。地域新聞はよく見る主婦も多いので、その様な保育系の記事を出してくれたらいいなと思います。いつもありがとうございます。とても良い市なので、できる限り住み続けたいです。
男/30～39 歳	産前、産後の講習会(両親学級、離乳食講座など)は、仕事や子育て等で会場に行けない場合もあるので、オンラインあるいはインターネット動画配信としてほしい。
女/30～39 歳	若い子どもがいるので子育てや小学校、中学校に関する事にとても関心が有ります。ボランティア活動を通して交流を深められる活動等があれば、小さいお子さんのいるお母さん、お父さんも参加しやすいかもしれません。(市外、県外から引っ越してくる方が多い為)

<p>女/30～39歳</p>	<p>現在、不妊治療をしております。流山市は子育てをしやすい街ということは、流山市に引っ越す前より存じておりました。「育てる」に加え「産む」のサポートをより充実させて頂けると大変ありがたいです。経済的負担の大きい治療なので、保険適用になっても大きなお金が出て行きます。県の補助金に加え、市からも補助して頂ければ、私のように不妊に悩む方々が救われます。地域福祉に関係があるか分からないのですが、書かせていただきました。</p>
<p>女/40～49歳</p>	<p>乳幼児、小さな子どもの育児に対する大変さは注目もあり理解もあり、支援を受けたり相談できる所があるように感じ、私自身もこれまでの生活の中で不安を感じた事はありません。しかし40代に入り子どもの成長に伴い子育ての難しさや経済的な負担は大きくなっていますが、支えは薄くなってきているように感じます。加えて親世代が高齢となり様々な心配や負担を抱えるようになりました。児童手当を中学生まで頂いていますが本当に必要になってくるのは高校生以上です。せめて18歳までの支給が叶わないかと思えます。育児には手が離れてきますが親に介護が必要になってきて、働きたくても思うように働けない状況です。40～50代の世代では同様の問題を抱えている家族があるのでは...と思えます。</p>
<p>男/40～49歳</p>	<p>以前住んでいた江戸川区では子育て世帯や幼児、乳児(小学生)のいる家庭に保健師が訪問したり、乳児健診の時などに相談したいとアンケートなどに記入すると相談できる場を設けたりしていたので助かった。引っ越ししてから子どもの健診を受ける機会がなかったこともあり、育児の相談が出来ないで孤立しているような感覚がある。</p>
<p>女/60～69歳</p>	<p>おおたかの森周辺では、小さい子どもさんも増えてきて、道路等で遊んでいる事がしばしば見受けられます。安心して遊べる公園が少ないのでは。</p>

地域に関すること

<p>男/30～39歳</p>	<p>おおたかの森駅周辺は利便性が良いのだが、東武線の線路があるため、各出口に分断されているように感じています(逆サイドに行く際にアップダウン有)。若い大人は良いのですが、子どもや老人には少し、しんどい。例えば北千住駅のように、アンダーパスで通行できるようになると、各エリアの行き来がしやすくなるので、期待したい。地域活動に参加したい気持ちはあります。一方、その情報を自ら取りに行くまでのモチベーションはありません。SNS等を用いた情報発信に期待します。</p>
<p>男/50～59歳</p>	<p>賃貸住宅に20年位住んでいるが、近所とのコミュニケーションが難しく、地域福祉などに関わる機会がない。最近移住している人の中には、こういった繋がりを持たない人も多いのではないかと。</p>
<p>女/50～59歳</p>	<p>どこに何を相談して良いのかわからない人が多いのではないかとと思うので、他市の「なんでもやる課」の様な所を作ってもらえると、住民が相談しやすいと思う。独りで暮らしている方で、特に男性が外に出ない事が多い様なので、今コロナで無理だが月に1回でも地域で集まり、無料で会食できるなどがあると良い様に思う。ボランティアの方などで、温かい手作りの食事などだと特に良い様に思う(お弁当だとそれだけもらいに来られる方が出るのではないかとと思うので)。身体が不自由な高齢者などには、医療マッサージなど訪問治療などを進め、少しでも健康になる様、いろいろな選択が出来る様、情報を提供できると良いと思う。(会話の向上や安否確認にもなる)</p>

女/50～59歳	自分の親や親戚の様子を見て、高齢者へのサービスは、充実しているように思っています。地域の住民が交流できる場があるといいと思います。子どもが大きくなると、なかなか地域の人との交流が難しいなと思っています。南流山駅の駅前がもう少しにぎやかになるといいなと思います。毎日たくさんの人が乗り換えしているのに、ちょっと立ち寄りのお店なども少なく、淋しいと思います(アンケートの内容とはズレますが)。流山市のためにありがとうございます。がんばってください。
女/50～59歳	特にありませんが、コロナが落ち着いたら、皆で集まれる楽しい場所があると良いですね。
女/50～59歳	ここ数年で空き家が目立つようになってきました。防犯上からも、あまり良いものではないと思います。
男/60～69歳	江戸川台東が活気がない(駅前など)。商業街など、商業的に活発な地域となるよう、地域活性化を図ってほしい。おおたかの森は人口増で活気があり、うらやましいと思える。
女/60～69歳	地域活動の代表である自治会は高齢化(役員)が進みなかなか30～60代の方が役員としてやって頂けるのか、難しい時代となりました。なので、それに代わる地域の活動が活発になる取組が今後必要になるのではと思っています。特に、東部地区は本庁などに遠く、置いておかれている気がします。
女/60～69歳	おおたかの森周辺では、小さい子どもさんも増えてきて、道路等で遊んでいる事がしばしば見受けられます。安心して遊べる公園が少ないのでは。
女/60～69歳	地域での助け合いを活発化させるための取り組み、社会構造や人々の暮らしの変化による支えあいの基盤の弱まり、自治会活動の省略化。近所との協力はゴミ0の日が唯一の日と感じるこの頃です(去年はコロナでそれさえもありませんでしたが)。「大変だからやりたくない」と思っても、いざ参加してやってみたら、「みんなと(誰かと一緒に)頑張ったからできた、楽しかった」と思う体験こそがやっぱり必要なのだと思います。行政から地域に役割を振ることも大事ですね。「参加と協力が不可欠」を強調してください。
男/70～79歳	転居して16年になりますが隣近所の住人と話したことが一度もありません。前後左右のお宅には転居挨拶にはお伺いしましたが話は出来ませんでした。知り合いになる事が重要ですがそのきっかけがありませんでした。自然なきっかけをどうやって作るかが大事です。サークル、ボランティア等地域活動等知らせて頂ければ有難いです。
その他支援が必要な人に関すること	
女/20～29歳	引きこもりの友人の母親が市に支援をお願いしても担当の方が次々変ってしまい、また初めからの対応になってしまい変化が現れないと言っていました。
男/40～49歳	できる事なら訪問して安否確認や困ったことの手助けをしてもらえれば助かると思いますが、このご時世で訪問するのにあたって詐欺事件が多発している為、信用性に欠けるところがネックです。
女/60～69歳	一番みたくない見出し「救えるはずの命だった」虐待根絶を願います。
女/60～69歳	シングルマザーの経験があります。離婚をしたその月から経済的に大変になるのに、結婚していた時の1年の収入が基準になり援助を受けられないと言われたことがあります(他の市ですが)。本当に困っている人の立場に沿った対応を望みます。経済的に困っ

	<p>ている若い方がたくさんいると思います。地域の人や近所の人には経済的な助けは出来ません。でも、生きていく上で経済的支援は確実に必要です。何がその人に必要なのかを考え対応できる行政にして下さい。</p>
男/70～79歳	<p>遠くの親戚より近くの他人、互いに思いやりの心を持って接していれば、隣人とは良い関係が作れ、手助けができるのではないのでしょうか。福祉は老人への対応となりがちですが、今後の世代を担う若年層(発達障害・ひきこもり等)への支援を充実させ、社会に貢献できる人材に育てる事の方が重要ではないのでしょうか。じっとしていられず、暴れたり、大声を出したり、物を投げつけたりする子も、幼児期に適切な教育をすることで穏やかな子に成長すると聞いております。</p>
<p>制度・行政に関すること</p>	
男/30～39歳	<p>流山市はこの数年で人口増加、年齢層が若返っているかと思えます。自身も含めて、新しく住み始めた人にとって、流山市の地域福祉に関して、認識する機会、場所が必要だと思えます。地域のイベント等を通じて、そういった流山市の取り組みや、もしもの時の相談窓口をきちんと知っておく必要があるかと思えます。また、今は若い世帯が多いかと思えますので、子育て、教育の充実が必要かと思えますが、数十年後に急速に高齢化が進むことが想定されます。既に高齢化が進んでいる地域もありますが、おたかの森周辺などの将来的に高齢化が進展することも見込んで、医療、福祉体制を充実させておく必要があると思えます。まず現状の流山市の状態や課題をしっかりと住民が認識するとともに、将来的にどういった街にしていくのか、住民が良く考え街づくりを進めていくことが必要だと思えます。</p>
女/30～39歳	<p>新興住宅地に引っ越してきてから、周囲が自治会に加入していないこともあり、私共も現在加入しておりません。区画整理が終わりましたので加入機会を伺ってはいるものの、誰にどのような手続きをすればよいか分からず、とはいえ、自治会に加入せずとも生活ができている現状もあります。地区でごみの問題もあるのですが、相談したくとも市ではなく自治会を通してと言われてしまい、相談相手がわからないので、近所内だけで無理くり解決しています。新住所アドレスになりましたので、町内で新たな自治会が作られるなら、今、様子見の人も加入する側になるかと思えます。市には改めて、自治会への加入について周知を頂けると有難いです。</p>
女/30～39歳	<p>地域福祉は住民間の繋がりや見守り訪問など、人の手が必要な部分が多いと思えます。ただ、その他の窓口、情報管理、手続き等出来る部分はDX対応を進めていって欲しいです(HPでチャットボットでガイド、年齢や既応歴、同居家族等の情報からリスク予測、妊娠前～高齢者までオンライン相談など、素人考えですが)。住民のニーズをくみ取る為にオンライン上で政策議論をする(加古川市)子育てイベント参加アプリ(神戸市)などCIVIC×GOVテックの新聞記事を読みました。是非流山市でも取り入れていただきたいです。</p>
女/30～39歳	<p>医療従事者なので福祉サービスについて多少知識があるが、そうでない人が情報を細かく把握するのは難しいと感じる。コロナ感染者情報が毎日メールで送られてくるのが大変有難く、今後もぜひ継続してほしい。</p>

女/30～39歳	引っ越してきた住民にとっては情報が分かりにくい、どんなサービスや活動をしているのか情報が入って来ない。
男/40～49歳	今まで、積極的に入手してこなかったこともあるが、地域情報が入ってきていないことに気づかされました。IT技術を活用した情報発信など、参画しやすい活動とまちづくりを期待しています。
女/40～49歳	母を介護している事は車イスでの移動の大変さです。自動車の運転免許を持っていないので、入退院の際や通院時はタクシーを利用しますが、費用がかかる。天気が良い時は車イスを使用します。道路の段差、くぼみ、傾斜に苦戦しながらの移動は体力を消耗します。道路の整備を希望します(車イスだけではなく、ベビーカーにとっても優しい道路になると思います)。
女/40～49歳	地域(近所)の方とは、ごみ出しの時にごくまれに顔を合わす程度。同年代の子どものいる家は世帯が分かりますが、どの家が高齢の方で、手助けが必要な方がどこにいるかも分かりません。仕事で朝早くから19時頃までいない日がほとんどで、土日は家事、買出しなど、地域に向けることはあまりしていませんが、何かできることはあるでしょうか。具体的な方法でボランティアの内容など知ることができたら、お手伝い、助け合いができると思いました。
女/40～49歳	以前住んでいた所では、よくボランティアを募集しており、授業参観時の未就学児の預かり(空いている教室で)をして下さる方がいたり、登下校時の見守りをして下さる方がいたりして、とても助かりました。市民の中にはボランティアをやってみたいと考えている方もいらっしゃると思うので、広報やホームページ等で広くお知らせして欲しいなと思います。
女/50～59歳	地域の活動は、日中に在宅する人が減少する時代には、今までのようには行かないと感じます。地域のボランティアをしておられる方は、いくつも抱えている人もいて活動が広がっているようには思えません。時代の変化に伴う合理化が必要だと思います。善意に頼るよりはお金をきちんと出して仕事にするのも必要だと思います。
女/50～59歳	小中学生のうちに地域福祉に馴染みがなければ、福祉の存在を知る機会がないと思います。(その後学業や仕事・遊びに忙殺され、困った事があってはじめてその存在を思い出す)。
女/50～59歳	これからいづれお世話になると思うので、気軽に相談できるのと、自分から探しに行かないと分からない情報発信ではなく、地域の中で分かる工夫をしてほしいです。今は子育て、仕事で忙しく協力できませんが、落ち着いたら協力したいと思っています。
女/50～59歳	福祉について、多くの人は自分が困ったり体が不自由になったり、高齢になったりと、何か必要になった時に初めて知ったり、調べたりすると思います(家族も含めて)。その時になって慌てて相談という事にならないように、または相談がしやすかったり、何時でも出来たりすることが、必要だと思う。
女/50～59歳	子どもがおらず、夫婦共働きなので福祉行政などに関心はなかったが、歳を重ね、自分自身が協力できることをしたいと思うようになった。ボランティア活動などを手伝えるような案内をしてもらえる様にしてほしい。又はボランティアをするための勉強会など。

男/60～69歳	日本人は、手助けに対して恥じる方が多く、自分からは声を出さないとします。行政の方からそんな方を見つけ出して、手伝いと手助けが出来る様な制度があればと思います。
女/60～69歳	無関心が一番怖いことだと思っています。一人一人が利他的で、エンパシーを持つことが大事だと思っています。今思っているのは、若い年齢層の介護の問題についてです。広域での支援はできませんが、自分が住んでいる隣近所であればお手伝いできる、と考えている人が多いのではないのでしょうか。困っている人が、声を上げることのできる行政であってほしい、そういう人が近所にいることを伝えてもらえれば、何かしら市民にもできるはずです。特に、勉学に励むことのできない理由として、学生が介護(身内の)に心身を疲労させられていることに胸が痛いです。
女/60～69歳	新聞を取っていないので市の広報誌が入手できないため情報が得にくい。自治会等の回覧板に挟んであれば良いのと思う時がある。地域福祉とは別の事ですかね。
女/60～69歳	おおたかの森周辺は子育て世代が増えその他の地域では高齢者が多くなっているようですので、各々の地域での色々な世代の方の意見を聞いていただき、その地域によって何が必要か精査して、住みやすい街づくりをして頂けたらと思います。大変な事と思いますが宜しくお願い致します。
女/60～69歳	近隣とはトラブルもなく本当に困ったときには相談したり、助け合ったりできる友人もいるが、互いの生活にはなるべく踏み込まない距離を保っていたい。そのため、住民同士の支え合いは、災害時には大切だが、平時は必要最低限でよいような気がする。これからもっと高齢になり、支えてもらうことが必要になったとき、どのようなサービスや施設があるのか、どのような選択肢があるのか等相談したり、手続きしたりがよりスムーズにできるシステムが確立されているとよいと思う。
女/60～69歳	福祉計画を、国民に、福祉が必要な方に、家族にわかりやすく示し、行政が足を運んで説明してあげられるよう支援の取り組みをしてほしい。自分の家族がそうだったらこうして欲しい気持ちを持って、人が温かい流山を目指し、国民が笑顔のある環境を、笑顔のある家庭で過ごしてもらえ地域社会を望みます。
女/60～69歳	プライバシーの問題があるので、支え合い、助け合うのは難しいと思いますが、自治会等で近所の方ともっと親しくふれ合える機会を作っていただき、各自でお手伝いできる事を増やしていけば、支援を必要としている方々のお役にたてると思います。
女/70～79歳	地域の高齢化が進み、自治会の在り方を今後どのようにするか問題である。行政も季節毎に皆で手分けし、地域巡回をして問題点をよく理解し、待っているだけでなく飛び込んで一緒に考えて行って欲しい。
男/70～79歳	地域福祉に関する連携や協力方法について、自治会や民生委員、児童委員や福祉関係者とでもう少し話し合いすることが必要と感じます(地区・社協の小型化)。自治会と福祉関係を担当する行政部署の協同・連携の強化を更に深めることはどうでしょうか。
女/70～79歳	今住んでいる地域は、高齢化が進んでおり、主人も介護でリハビリを受けており助かっております。今後もいろいろな情報が受けられて、手続き等も近くの出張所でできたら助かります。今、自治会の「一声運動」や公園清掃に協力しておりますが、新規参加者がなく、増やすのに困っております。仕事を退職した方への活動促進を促してほしいと思います。コロナ禍でいろいろの行事が行えないのが残念です。

男/70～79歳	地域福祉は大切です。流山市発展の為にぜひ力点をここにおき、その為にも住民が何を望んでいるかを、定期的に調査していただけるとありがたいです。
男/80歳以上	地域福祉では住民全体が主であるので、元気な人がリーダーとなって、サークルや～の会、その他、心置きなく体力のない人でも没頭できるグループのPRがほしいと思います。知人を作る事が基本的なような気がします。

流山市地域福祉計画策定のための アンケート調査 ご協力をお願い

市民の皆様には日ごろから福祉行政にご協力いただき、ありがとうございます。

流山市では、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるまちづくりの実現のために、平成29年3月に、市民、関係機関・団体、行政が連携し、ともに支え合い、助け合える仕組みづくりを目指した「第3期 流山市地域福祉計画」を策定しました。

現在、流山市では、「第3期 流山市地域福祉計画」が令和3年度で終了するため、「第4期 流山市地域福祉計画（仮称）」の策定を進めています。

このアンケート調査は、計画策定に市民の皆様の声を反映するため、18歳以上の市民3,000人を対象に実施するものです。皆様の福祉観、地域活動への参加状況などの実態、地域福祉に関するご意見、ご提言を広くお聞きかせください。

このアンケート調査は、回答者の皆様のプライバシーに配慮して、個人を特定することなく、統計的に処理します。趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年1月
流山市長 井崎 義治

< ご記入にあたってのお願い >

1. 質問には、できるだけあて名のご本人がご回答ください。
なお、ご本人が回答できない場合は、ご家族の方が代筆されても結構です。
その際、各質問にはご本人の立場でご回答ください。
2. 選択肢のあてはまる番号を○で囲んでください。
3. 質問によっては、選択肢や○の数、ご回答いただく方が限られているものもあります。
矢印（→）やことわり書きに従ってご記入ください。
4. 「その他」に○をつけられた場合は、その内容をできるだけ具体的に（ ）内にご記入ください。

なお、ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れ、**2月9日(火)**までに、お近くのポストへご投函くださいますようお願い申し上げます。

本調査についてのお問い合わせ先

流山市役所 社会福祉課健康福祉政策室
電 話：04-7150-6079
FAX：04-7158-2727

市民意識調査

流山市地域福祉計画策定に向けて

1 地域福祉って？

「高齢者福祉」はお年寄りを、「障害者福祉」は身体等の障害のある方を、「児童福祉」は子どもを対象とした福祉の取組です。それに対して「地域福祉」とは、皆さんが住んでいる「地域」を対象に、流山市に住んでいる皆さん全員を「福祉の担い手」ととらえ、地域での助け合いを活発化させるための取組のことで。

2 地域福祉と地域共生社会

かつては地域や家族同士の助け合いなど、人々の生活の様々な場面において支え合いの機能が存在していましたが、高齢化や人口減少で地域や家庭などの支え合いの基盤が弱まっています。また、お年寄り、障害のある方、児童などの対象者別、機能別に整備された公的支援についても、様々な分野の課題が絡み合い複雑化するなど、対応が困難な場面が増えています。

そこで、このような社会構造や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域にお住まいの方や地域の多様な主体が一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく「地域共生社会」の実現を目指していきます。

3 地域共生社会を実現するためには？

地域共生社会を実現するためには、地域にお住まいの方・様々な機関や団体・行政など皆が、その役割・できることを認識して積極的に活動に参加できるよう、「自助」、「共助」、「公助」という役割分担の考え方のもと、様々な地域生活課題を「地域みんなの問題」と考えて、世代や分野を超えてつながり、問題解決に積極的に取り組むことが必要となっていきます。



自助＝市民

- 市民一人ひとりができること
- ・普段から互いにあいさつをしたり困っている人への声かけをする。
 - ・日常生活の中でボランティアや地域活動への関心を持ったり、参加したりする。



共助＝地域

- 地域のみんなのできること
- ・介護や子育てなど、地域で気軽に話し合える場を持ち、みんなで助け合う。
 - ・地域活動の情報を発信し、支え合う。



公助＝行政

- 行政が取り組むこと
- ・地域における見守りや支え合い活動を推進する。
 - ・ボランティアの養成を進める。

4 誰もが安心して暮らせる社会をめざします！

地域のことや、日ごろ感じる生活の課題などを一番よく知っている、地域の皆さんの参加と協力が必要不可欠となります。

市民参加の第一歩として、アンケート調査へのご協力よろしくお願いいたします。

なお、アンケート調査結果や地域福祉計画については、随時、広報や市ホームページなどでお知らせいたします。



切り取って、資料としてご利用ください

ご自身についてお伺いします。

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 答えたくない |
|-------|-------|-----------|

問2 あなたの年齢を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18、19歳 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 |
| 5. 50～59歳 | 6. 60～69歳 | 7. 70～79歳 | 8. 80歳以上 |

問3 あなたの職業を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 会社員・会社役員(常勤) | 2. 団体職員・公務員(常勤) |
| 3. パート・アルバイト・内職 | 4. 自営業(家族従業者も含む) |
| 5. 主婦(家事専業) | 6. 学生 |
| 7. 無職 | 8. その他() |

問4 あなたがお住まいの地域はどこですか。(あてはまるもの1つに○)

北 部	1. 東深井	2. こうのす台	3. 美原1～4丁目	4. 富士見台1～2丁目
	5. 富士見台	6. 江戸川台東1～4丁目	7. 中野久木	8. 小屋
	9. 深井新田	10. 江戸川台西1～4丁目	11. 平方	12. 南
	13. 平方村新田	14. 上新宿新田	15. 西深井	16. 北
中 部	17. 若葉台	18. 上貝塚	19. 駒木台	20. 東初石1～4丁目
	21. 桐ヶ谷	22. 大畔	23. 美田	24. 西初石1～5丁目
	25. 谷	26. 上新宿	27. 下花輪	28. 青田
	29. 駒木	30. おおたかの森 北一～三丁目	31. おおたかの森 東一～四丁目	32. おおたかの森 南一～三丁目
南 部	34. 三輪野山	35. 三輪野山一～五丁目	36. 流山1～9丁目	37. 西平井
	38. 西平井一～三丁目	39. 流山	40. 加一～六丁目	41. 加
	42. 平和台1～5丁目	43. 鱈ヶ崎	44. 鱈ヶ崎二丁目	45. 市野谷
	46. 南流山1～8丁目	47. 木		
東 部	48. 宮園1～3丁目	49. 古間木	50. 野々下1～6丁目	51. 名都借
	52. 思井	53. 思井一丁目	54. 前平井	55. 長崎1～2丁目
	56. 前ヶ崎	57. 中	58. 後平井	59. 松ヶ丘1～6丁目
	60. 向小金1～4丁目	61. 芝崎	62. 西松ヶ丘1丁目	

問5 あなたが流山市に住み始めて何年になりますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|-------------|-------------|------------|
| 1. 3年未満 | 2. 3～5年未満 | 3. 5～10年未満 |
| 4. 10～15年未満 | 5. 15～20年未満 | 6. 20年以上 |

問6 現在のお住まいについてお聞かせください。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 持ち家(一戸建て) | 2. 持ち家(マンション・集合住宅) |
| 3. 借家(一戸建て) | 4. 借家(マンション・集合住宅) |
| 5. その他() | |

問7 あなたの家族構成について教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|----------------|----------------------|------------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 夫婦のみ | 3. 2世代(親子) |
| 4. 3世代(親子+祖父母) | 5. 4世代以上(親子+祖父母+その他) | |
| 6. その他() | | |

問8 あなた自身や同居している家族の中に、次のような方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1. 乳児(1歳未満) | 2. 乳児を除く小学校入学前の幼児 |
| 3. 小学生 | 4. 中学生・高校生 |
| 5. 65歳以上の方 | 6. 介護を必要とする方 |
| 7. 障害のある方 | 8. いずれもない |

市民意識調査

生活・健康の状況についてお伺いします。問9 あなたの現在の生活状況（経済的）についてお聞かせください。（あてはまるもの**1つ**に○）

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. とても困っている | 2. 少し困っている |
| 3. あまり困っていない | 4. まったく困っていない |

問10 あなたは、現在、心身ともに健康ですか。（あてはまるもの**1つ**に○）

- | | | | |
|-------------|------------|-------------|----------|
| 1. 非常に健康である | 2. まあ健康である | 3. あまり健康でない | 4. 健康でない |
|-------------|------------|-------------|----------|

問11 この1か月間に、どのくらいの頻度で次のことがありましたか。

（①から⑥の項目について、あなたのお気持ちに一番近い答えの番号**1つ**に○。なお、答えに迷われた場合でも、最も近いと思うものを選び、すべての項目に答えてください。）

	全くない	少しだけ	ときどき	たいてい	いつも
① 神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
② 絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
③ そわそわ、落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
④ 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
⑤ 何をするのも骨折りだと感じましたか	1	2	3	4	5
⑥ 自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

問12 あなたは、普段利用するかかりつけの医療機関を決めていますか。（①から③の項目について、あてはまるもの**1つ**に○）

① 医院・病院	1. 決めている	2. 決めていない	3. 決めているが最近では利用していない
② 歯科医院	1. 決めている	2. 決めていない	3. 決めているが最近では利用していない
③ 薬局	1. 決めている	2. 決めていない	3. 決めているが最近では利用していない

問13 あなたは、現在、1日にどれくらいのタバコを吸いますか。（あてはまるもの**1つ**に○）

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| 1. 喫煙したことがない | 2. 喫煙していたがやめた | 3. 1本～10本 |
| 4. 11本～20本 | 5. 21本～30本 | 6. 31本以上 |

問14 あなたは、現在、どの程度の頻度でアルコール類を飲みますか。（あてはまるもの**1つ**に○）

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1. まったく飲まない | 2. 月に1日～3日 | 3. 週に1日～2日 |
| 4. 週に3日～4日 | 5. 週に5日～6日 | 6. 毎日 |

問15 あなたの運動の頻度についてお聞かせください。（あてはまるもの**1つ**に○）

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 毎日、運動している | 2. 週に5日～6日は運動している |
| 3. 週に3日～4日は運動している | 4. 週に1日～2日は運動している |
| 5. 月に1日～2日は運動している | 6. ほとんどしていない |
| 7. その他（ ） | |

問16 あなたの食事の取り方についてお聞かせください。（あてはまるもの**1つ**に○）

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 毎日、誰かと一緒に食べる | 2. 週に5日～6日は、誰かと一緒に食べる |
| 3. 週に3日～4日は、誰かと一緒に食べる | 4. 週に1日～2日は、誰かと一緒に食べる |
| 5. 月に1日～2日は、誰かと一緒に食べる | 6. ほとんど一人で食べる |
| 7. その他（ ） | |

地域や社会とのかかわりについてお伺いします。

問 17 あなたは、現在、地域・街に対してどれくらい愛着がありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. とても愛着がある 2. やや愛着がある 3. あまり愛着がない 4. 愛着がない

問 18 現在、あなたの住んでいる地域の中での問題点と思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. あいさつをしない人が多い
 2. 緊急時の対応体制がわからない
 3. 犯罪の増加
 4. 交通マナーの乱れ
 5. 道ばたのごみが増えた
 6. 地域での子どもの見守りがなされていない
 7. 子どもや女性、高齢者、障害のある方に対する虐待を見たり聞いたりする
 8. 隣近所との交流が少ない
 9. 世代間の交流が少ない
 10. 地域の活動が不活発である
 11. 地域の中で気軽に集まれる場が少ない
 12. 自治会の活動に参加しにくい雰囲気がある
 13. 障害のある方に対する理解が不足している
 14. 健康に対する意識が低い
 15. 移動手段が不十分
 16. 特にない
 17. その他 ()

問 19 あなた、もしくはあなたの世帯は、自治会に加入していますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 加入している 2. 加入していない

問 20 あなたは、現在、どのような近所づきあいをしていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 困ったときに相談をしたり、助け合ったりするなど、親しくつきあっている
 2. 会えば話をするが、親しくつきあうほどではない
 3. 会えばあいさつをかわす程度
 4. つきあいはほとんどない

問 21 あなたは、今後、どのような近所づきあいをしたいですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 困ったときに相談をしたり、助け合ったりするなど、親しくつきあいたい
 2. 話をする程度のつきあいはしたい
 3. あいさつをかわす程度で、それ以上のつきあいは望まない
 4. つきあいはしたくない

問 22 あなたは、現在、地域や社会での活動(自治会、子ども会、老人クラブ、市民活動団体、ボランティアなど、主にあなたの居住地域内を活動対象とした活動)に参加していますか。

(あてはまるもの1つに○)

1. 参加している → 問 23-1、2、3へ 2. 参加していない → 問 24-1、2へ

問 23-1 あなたは、住んでいる地域や社会の中で、次の活動にどれくらいの頻度で参加していますか。(①から③の項目について、あてはまるもの1つに○)

①地域の活動(自治会、子ども会、老人クラブなど)	1. 週に2～3回 4. 月に1回	2. 週に1回 5. 年に数回	3. 月に2回～3回 6. 参加経験なし
②趣味、スポーツ、娯楽活動	1. 週に2～3回 4. 月に1回	2. 週に1回 5. 年に数回	3. 月に2回～3回 6. 参加経験なし
③ボランティア、NPO、市民活動団体(まちづくり、福祉活動など)	1. 週に2～3回 4. 月に1回	2. 週に1回 5. 年に数回	3. 月に2回～3回 6. 参加経験なし

市民意識調査

問 23-2 あなたが活動に参加している理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 地域や社会に貢献したい	2. 自分の能力や経験等を活かしたい
3. 新しい仲間づくりをしたい	4. 余暇を有効に活用したい
5. 家庭や仕事以外の生きがいをつくりたい	6. 自己啓発のため
7. 役回りで仕方なく	8. 活動に参加している人から誘われた
9. 特に理由はない	10. その他 ()

問 23-3 新型コロナウイルス感染症によって活動に影響はありましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 影響はなかった	2. 感染予防対策をとって活動した
3. 感染の不安から活動を延期、中止した	4. 活動場所が使えず、活動ができなくなった
5. 参加者が集まらなくなった	6. 活動や運営のオンライン化が進んだ
7. その他 ()	

問 24-1 あなたは、今後、地域活動に参加したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 積極的に参加したい	2. 条件が合えば参加したい
3. 参加したいと思わない	

問 24-2 あなたが活動に参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 参加したい活動がない
2. 活動の内容や参加方法がわからない
3. 引っ越してきて間もない
4. 仕事が忙しく、参加する時間が取れない
5. 家事や育児が忙しく、参加する時間が取れない
6. 病人や高齢者、障害のある方等の介護が忙しく、参加する時間が取れない
7. 家族の理解が得られない
8. 現在、ケガをしていたり、体調を崩している
9. 他人とかかわりあいたくない
10. 以前に不快な思いをしたことがある
11. 一緒に参加する知り合いがいない
12. 新型コロナウイルス感染症への感染の不安がある
13. その他 ()

住民同士の支え合い、生活上の悩みについてお伺いします。

問 25 あなたは、お住まいの地域の住民同士の支えあいについて、どのように感じていますか。(①から⑨の項目について、あなたのお気持ちに一番近い答えの番号1つに○)

	とても そう思う	思う ややそう	どちらとも 言えない	あまり 思わない	全く 思わない
① 災害が起こったとき、ご近所の人たちと助け合えると思いますか	1	2	3	4	5
② 何かアドバイスが必要な時には、ご近所に相談できる人がいると思いますか	1	2	3	4	5
③ あなたは、ご自分の家庭が近所から孤立していると感じることがありますか	1	2	3	4	5
④ ご近所の人たちは、お互いに信頼し合っていると思いますか	1	2	3	4	5
⑤ ご近所の人たちは、一般的に信頼できると思いますか	1	2	3	4	5
⑥ ご近所の人たちは、多くの場合、他の人の役に立とうとすると思いますか	1	2	3	4	5
⑦ あなたは、ご近所の人たちとお互いに助け合っていると思いますか	1	2	3	4	5
⑧ あなたは、居住する地域で他の人の役に立ちたいと思いますか	1	2	3	4	5
⑨ あなたは、現在住んでいる地域に誇りや愛着を感じていますか	1	2	3	4	5

市民意識調査

問 32-1 あなたや身近な人が、日常生活で困っていることはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 身の回りのこと（体力に不安があり家事や外出がひとりではできない、障害があり日常生活を送るのに不便がある、認知症等で財産管理ができない等）
2. 子育てに関すること（子どもの発育に問題がある、家族の協力が得られない、いじめや不登校がある、ひきこもりの問題等）
3. 家族の介護に関すること（介護する人が疲れきっている、介護により通学や就業に支障が出ている等）
4. 障害のある家族に関すること（老後に障害のある子どもの面倒を誰がみてるのか等）
5. 経済的なこと（失業して収入がない、カードローンなどの債務等）
6. 住環境に関すること（老朽化している、周囲にゴミ屋敷がある、空き屋の管理等）
7. 治安に関すること（近所に空き巣が入った、ひったくりがあった等）
8. 災害時の備えに関すること（万が一の時に自分や家族がひとりでは避難できない等）
9. 近所づきあいに関すること（つきあいがなく、不安や心細さを感じる等）
10. その他（)

問 32-2 あなたは日常生活で困った時、誰に相談しようと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1. 家族や親戚 | 2. 友人・知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 職場の同僚や上司 |
| 5. 市役所 | 6. 社会福祉協議会 |
| 7. 民生委員・児童委員 | 8. 保育園(所)・幼稚園・学校 |
| 9. ボランティア団体やNPO団体 | 10. 弁護士や司法書士 |
| 11. 高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター） | |
| 12. 各種専門機関・相談支援窓口 | 13. 相談できる人がいない |
| 14. その他（) | |

問 33 あなたは、次の相談支援窓口を知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 高齢者なんでも相談室（地域包括支援センター）
：高齢者の介護・福祉・健康・医療など全般の相談
2. 障害者相談支援事業委託事業所
：障害のある人や家族の地域での生活や就労、福祉サービスの利用など全般の相談
3. 暮らしサポートセンター ユーネット（生活困窮者自立支援事業委託事業者）
：生活や仕事で困っている人の自立支援や就労支援の相談
4. 子育て支援センター
：子育てに関すること全般の相談
5. 子育てなんでも相談室（子育て世代包括支援センター）
：妊娠・出産・子育てに関すること全般の相談
6. いずれも知らない
7. その他（)

問 34 もし、あなたの周辺で児童や高齢者等に対して虐待などが疑われる状況を知ったら、あなたはどのように対応しますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 本人や保護者に声をかける | 2. 近所の人に相談する |
| 3. 自治会の役員に相談する | 4. 民生委員・児童委員に相談する |
| 5. 社会福祉協議会に相談する | 6. 市役所に相談する |
| 7. 専門の相談支援窓口相談する | 8. 警察に連絡する |
| 9. 特になにもしない | 10. わからない |
| 11. その他（) | |

問 35 防災活動や災害など緊急時の対応について、あなたの取組や考えはどれですか。
(あてはまるもの1つに○)

	はい	いいえ	わからない
① 日ごろから地域の防災訓練に参加している	1	2	3
② 地域の自主防災組織(自治会などを母体に、地域の住民が防災活動をする組織)に入っている	1	2	3
③ 災害などの緊急時に、高齢者世帯や障害のある方など要援護者への、避難等の手助けができる	1	2	3
④ 災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要・手助けしてほしい	1	2	3

問 36 あなたは、地震などの災害が発生した時に、困ることはどのようなことだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 災害の情報がわからない | 2. 安全な場所に避難できない |
| 3. 救助を求めることができない | 4. 救助を求めても助けてくれる人がいない |
| 5. 避難場所がわからない | 6. 物資の入手方法などがわからない |
| 7. 介助や支援が受けられない | 8. 必要な治療が受けられない |
| 9. 周囲とコミュニケーションがとれない | 10. わからない |
| 11. その他() | 12. 特にない |

問 37 ひとり暮らし高齢者や障害のある方など、普段から住民同士の支え合いや災害時や緊急時に支援を必要とする人について、所在(個人情報)や状態を把握して登録する制度があります。この情報把握の方法として、あなたが望ましいと思うものをお聞かせください。
(あてはまるもの1つに○)

- | |
|---|
| 1. 援助を必要とする人の自発性を尊重するため、広報等で制度をお知らせし、希望者の申し出により登録する方法 |
| 2. 戸別に援助が必要と思われる人を訪問し、制度をお知らせすると同時に、情報登録への同意を求める方法 |
| 3. 援助を必要とする人の情報の漏れをなくするため、登録を望まない申出をした人を除き、福祉部局等で収集した情報を市役所、消防、民生委員、自治会等で共有する方法 |
| 4. その他() |

地域福祉にかかわる団体や制度、今後の地域福祉についてお伺いします。

問 38-1 流山市社会福祉協議会についてご存知ですか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---------------------------|------------|
| 1. 名称も、活動内容も知っている | → 問 38-2 へ |
| 2. 名称は聞いたことがあるが、活動内容は知らない | → 問 39-1 へ |
| 3. 名称も、活動内容も知らない | → 問 39-1 へ |

問 38-2 流山市社会福祉協議会の活動として、ご存知のものについてお聞かせください。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------------|-------------------|
| 1. 社協会費や共同募金活動 | 2. 生活福祉資金・小口資金の貸付 |
| 3. 居宅介護支援事業・訪問介護事業 | 4. 心配ごと相談・成年後見相談 |
| 5. 学童クラブの運営 | 6. 子育て支援事業 |
| 7. 高齢者デイサービスや身体障害者デイサービスセンターの運営 | |
| 8. ボランティア活動の支援・介護支援サポーターの養成や活動支援 | |
| 9. 地区社会福祉協議会活動支援などの地域福祉活動 | |
| 10. 日常生活自立支援事業 | 11. その他() |

問 44 あなたは、福祉サービス事業者（施設）を選ぶときに、第三者評価の評価結果を利用したいと思いますか。（あてはまるもの**1つに○**、「3」を選んだ場合はその理由も教えてください）

1. 利用したい	2. わからない
3. 利用したいと思わない（その理由： _____）	

問 45 あなたがお住まいの地域や周辺の環境について、どのように思いますか。（①から⑪の項目について、あなたのお気持ちに一番近い答えの番号**1つに○**）

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
① 公共施設や道路、交通機関等のバリアフリー化が進んでいる	1	2	3	4
② 防災対策が充実しており、安心して住めるまちである	1	2	3	4
③ 治安が良く、安心して住めるまちである	1	2	3	4
④ ごみのポイ捨てや飼い犬のふんの放置防止、ごみの出し方のルール等、まちをきれいにするための取組が十分である	1	2	3	4
⑤ 子育てがしやすいまちである	1	2	3	4
⑥ 高齢者や障害のある方が自立し、安心して暮らせるまちである	1	2	3	4
⑦ 隣近所等、身近な地域での助け合いや交流活動が活発である	1	2	3	4
⑧ ボランティア活動やNPO活動（民間非営利活動）が活発である	1	2	3	4
⑨ 現在、住んでいる地域に愛着を持っている	1	2	3	4
⑩ 総合的にみて、あなたにとって流山市は住みよい	1	2	3	4
⑪ これからも流山市に住み続けたい	1	2	3	4

問 46 あなたは、流山市の地域福祉に関する市民と行政の協働（パートナーシップ）について、どのように感じていますか。（あてはまるもの**1つに○**）

1. 非常に進んでいる	2. どちらかといえば進んでいる
3. どちらかといえば進んでいない	4. 全く進んでいない

問 47 地域での福祉活動を充実させていくうえで、市民と行政との関係はどのようなかたちが望ましいと思いますか。（あてはまるもの**1つに○**）

1. 住民主導型（家庭や地域をはじめ住民同士で助け合い、手の届かない部分は行政が援助する）
2. 住民・行政協調型（住民も行政も同じ立場で協力し合い、ともに取り組む必要がある）
3. 行政主導型（福祉に関することは行政が行うべきだが、手の届かない部分は住民が協力する）
4. 行政単独型（福祉を充実する責任は行政にあり、住民が協力する必要はない）
5. わからない

問 48 あなたは、地域での福祉活動に対し行政からどのような支援が最も必要だと思いますか。（あてはまるもの**1つに○**）

1. 活動情報を提供する	2. 活動の拠点や場を提供する
3. 活動に対する経済的な支援を行う	4. 活動に対する人的な支援を行う
5. 特に市は関わらなくてよい	6. その他（ _____ ）

市民意識調査

問 49 地域共生社会では、様々な生活課題に制度の枠を超えて横断的に対応する相談支援体制が求められます。流山市がそうした相談支援を充実していくうえで、どのような取組に最も力を入れるべきだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 市役所で多様な相談を総合的に受けられるようにする
2. 身近なところで相談できるよう、地域で活動している人や事業所等の相談を充実する
3. 相談が必要な人を発見し、窓口につなぐ取組を充実する
4. 相談を支援に結び付けられるよう、関係者間のネットワークを充実する
5. 相談がしやすいよう、窓口の開設時間の延長や相談を受ける方法の見直しを行う
6. その他 ()

問 50 誰もが住み慣れた地域で安心して生活していくために、どのような取組が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 隣近所など、周囲の理解と協力による見守りなどの支援を行う
2. 地域活動(自治会等)を充実させる
3. ボランティア団体やNPO法人など市民活動を充実させる
4. 高齢者や障害のある方が地域で活動できる機会をつくる
5. 人が集まり、気軽に相談できる場を充実させる
6. 健康や福祉についての情報提供を充実させる
7. 住民がお互いに支え合い助け合えるまちづくりをすすめる(住民同士や行政との協力等)
8. 健康づくりや生きがいづくりの活動が盛んなまちづくりをすすめる
9. 自宅での生活を支援する在宅福祉サービスを充実させる
10. 高齢者への支援(介護や生活・自立支援・生きがい対策)を充実させる
11. 障害のある方への支援(介護や生活・自立支援)を充実させる
12. 成年後見制度の周知や市民後見人の育成など、権利を守るための支援を充実させる
13. 安心して子どもを生み育てられる子育て環境を充実させる
14. 虐待に関する相談体制の整備など虐待防止の取組をすすめる
15. 福祉サービス提供事業者の育成や連携をすすめる
16. 手当など金銭的な援助を充実させる
17. 生活困窮者に対する相談体制の整備や住まいの確保などの支援を充実させる
18. 就労に関する相談体制の整備や情報の提供などの支援を充実させる
19. 罪を犯した人の立直りを支え、社会復帰ができるよう支援を行う
20. 交通の利便性の確保をすすめる
21. 公共施設や交通機関、道路の段差解消など、バリアフリー化をすすめる
22. 災害に強いまちづくりをすすめる
23. 防犯体制が整ったまちづくりをすすめる
24. 保健事業(健(検)診・予防接種等)や感染症対策、地域医療体制などを充実させる
25. その他 ()
26. 特になし

問 51 地域福祉に関して、ご意見やご要望等がございましたら、ご記入ください。

以上で、アンケートは終了です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、**2月9日(火)**までに、お近くのポストへご投函ください。

